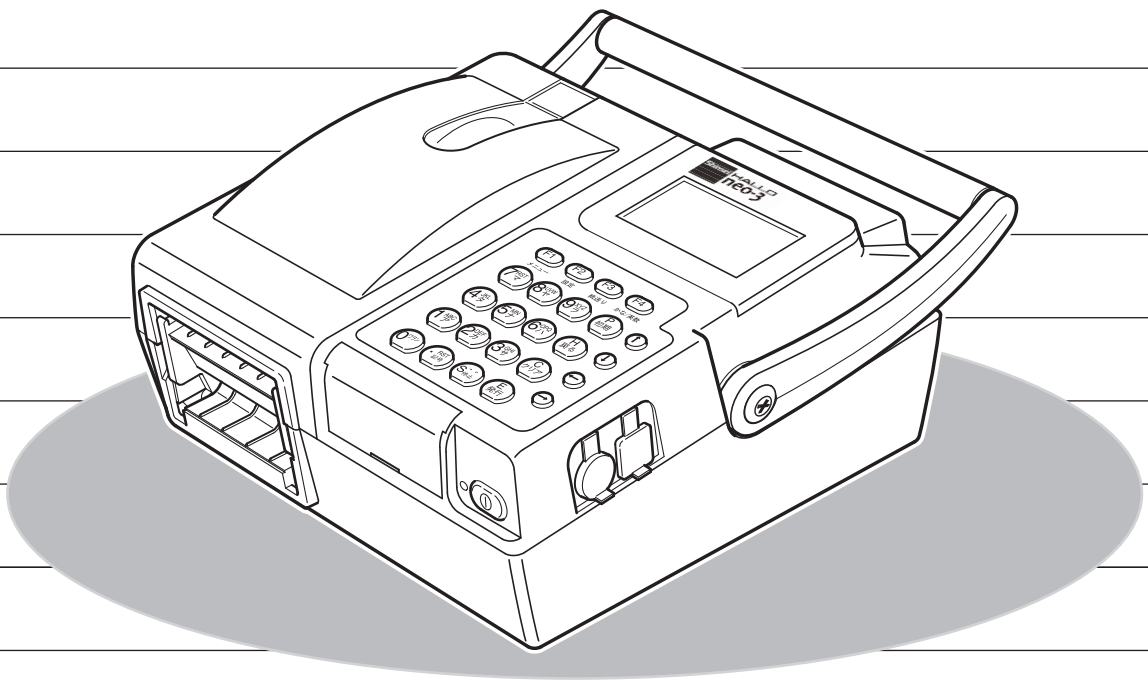




COMPACT BARCODE PRINTER

操作編 取扱説明書



株式会社
新盛インダストリーズ

■ はじめに

このたびは HALL0 neo-3 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、最新鋭のエレクトロニクス技術と卓越した経験をもとに開発されたバーコードプリンターです。ご使用前に、本書を充分お読み頂き、HALL0 neo-3 を正しく有効にご活用くださるようお願い致します。また、本書が必要になったときに、すぐにご利用できるように保管してください。



注 意： ●カバーの解放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますが、**手を触れない**で下さい。

使用直後のラベル交換時などは、ヘッドが過熱していて、**火傷** のおそれがあります。

また、手油が **ヘッド劣化** の原因にもなりますので、絶対に触らないで下さい。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。

その場合には、使用者が適切な対応を講じるよう要求されることがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをして下さい。

お願い： ニッケル水素（Ni-MH）電池のリサイクル

バッテリーパックは、不用になりましたら、当社へお届け下さい。

■ ご使用時のお願い

本装置は、過度な電源ノイズや浮遊電波などの外部要因によって、内蔵しているプログラムの設定値が、変化したり破壊される場合がありますので、印字内容が正しいことを確認してから発行（使用）して下さい。

目 次

1	液晶画面について	7
2	初期画面について	13
2-1	初期画面の表示	13
2-2	電池残量表示（電源にバッテリーパックを使用している場合）	14
3	ラベル発行について	15
3-1	呼出發行	17
3-2	入力発行	19
3-3	スキャナーによる検索発行	21
3-4	検索データ入力による検索発行	23
3-5	コピー発行	24
4	値下発行について	25
4-1	%引による値下発行	26
4-2	円引きによる値下発行	28
4-3	ズバリ価格による値下発行	30
5	通信について	32
6	データ管理について	33
6- 1	レイアウト	33
6- 1- 1	レイアウト設定	34
(1)	印字濃度	35
(2)	印字位置調整	36
(3)	送り量調整	37
(4)	印字左右移動	38
(5)	印字方式	39
(6)	ラベル出し方向	42
(7)	印字速度設定	43
(8)	リアルタイム時間	44
(9)	印字後テストパターン	45
(10)	センサー設定	46
(11)	ラベル情報	46
6- 1- 2	登録件数	47
6- 1- 3	レイアウト確認	47

目 次

6- 2 プリセット	48
6- 2- 1 登録／編集	48
6- 2- 2 登録件数	52
(1) 登録件数	52
(2) レイアウト別件数	53
6- 2- 3 プリセット削除	53
(1) 指定番号削除	54
(2) 指定範囲削除	55
(3) レイアウト単位削除	56
(4) 全部削除	57
6- 2- 4 一覧発行	58
6- 3 テーブル	59
6- 3- 1 データ追加	59
6- 3- 2 データ編集	61
6- 3- 3 データ削除	62
6- 4 店舗情報	63
6- 4- 1 店舗番号設定	63
6- 4- 2 店舗情報確認	64
(1) 店番	64
(2) 会社	65
(3) 住所	65
(4) 電話	66
6- 5 機械番号設定	67
6- 6 値下実績	68
6- 6- 1 F T Pサーバに転送	68
6- 6- 2 パートナーに転送	69
6- 6- 3 カードに保存	69
6- 7 発行履歴送信	70
6- 8 パートナーファイル	71
6- 8- 1 ファイルを保存	71
6- 8- 2 ファイルを読込	72
6- 8- 3 範囲指定で読込	73
6- 8- 4 ファイルを削除	74
6- 9 バックアップ&復元	75
6- 9- 1 バックアップ	75
6- 9- 2 復元	76

目 次

6-10 レイアウト共通設定	77
6-10- 1 総額端数処理	78
6-10- 2 和暦元年	80
6-10- 3 和暦年号	80
6-11 C Fカード初期化	81
6-12 消費税率	82
6-13 軽減税率設定	83
7 設定について	88
7-1 デバイス設定	88
7-1- 1 内蔵時計設定	89
7-1- 2 L C Dバックライト	90
7-1- 3 L C Dコントラスト	91
7-1- 4 キーの操作音	91
7-1- 5 エラー音設定	92
7-1- 6 自動電源OFF	93
7-1- 7 スリープ設定	94
7-1- 8 ヘッド自動チェック	95
7-1- 9 ライナーレス設定	95
7-1-10 メインメニュー表示	96
7-1-11 通信方式選択	96
7-1-12 他社ラベル	97
7-2 値下設定	98
7-2- 1 値下集計	98
7-2- 2 値下後戻る画面	99
7-2- 3 値下枚数設定	100
7-2- 4 印字方式切替	101
7-3 操作設定	102
7-3- 1 初期画面	103
7-3- 2 呼出番号固定	104
7-3- 3 デフォルト呼出番号	104
7-3- 4 発行枚数固定	105
7-3- 5 デフォルト発行枚数	105
7-3- 6 発行前に確認	106
7-3- 7 発行前に動作	107
7-3- 8 印字後戻る画面	108
7-3- 9 U P C A / J A N 1 3 指定	109
7-3-10 コピー発行枚数	110

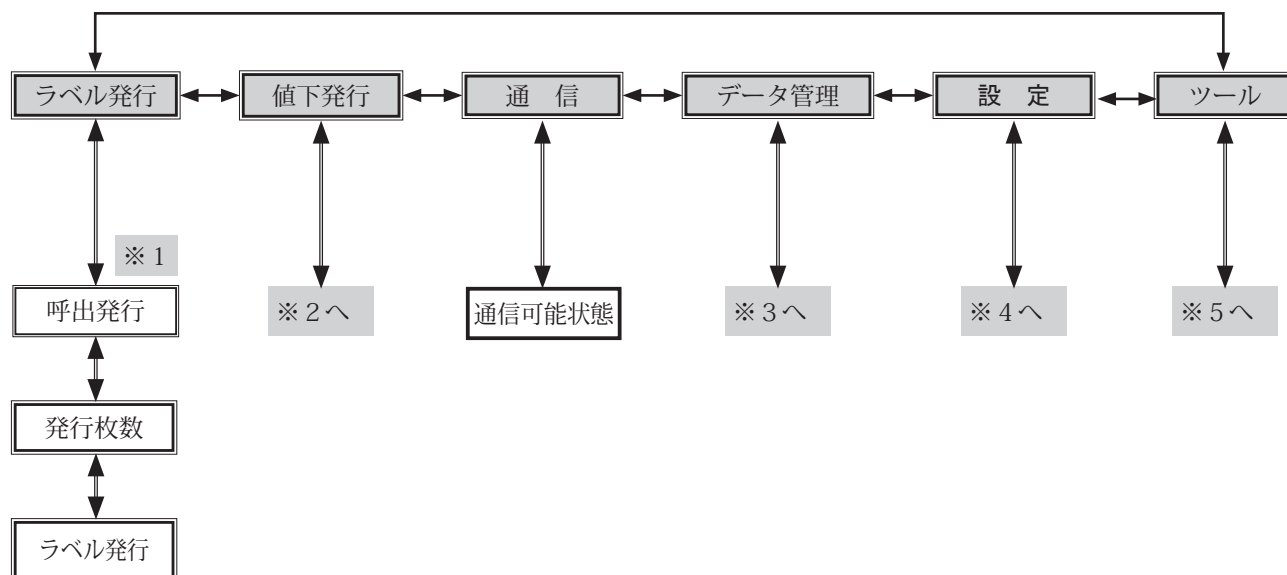
目 次

7-3-11 自動データ更新	111
7-3-12 時計確認表示	112
7-4 ネットワーク設定	113
7-4- 1 通信ポート選択	113
7-4- 2 無線LAN設定	114
(1) SSID	114
(2) WEPキー設定	115
(3) 認証方式	116
(4) ワイヤレス接続の方式	117
(5) チャンネル番号	118
7-4- 3 TCP/IP設定	119
7-4- 4 サーバー設定	120
(1) サーバーIPアドレス	121
(2) ポート番号	121
(3) ユーザ名	122
(4) パスワード	122
(5) ルート	123
(6) NTPサーバー	123
7-5 設定値	124
7-5- 1 一覧印刷	124
7-5- 2 出荷値に複製	125
7-5- 3 出荷値に戻す	126
7-5- 4 ファイルに保存	127
7-5- 5 ファイルから復元	128
8 ツールについて	129
8- 1 バージョン情報	129
8- 2 発行距離確認	130
8- 3 MACアドレス	130
8- 4 プリンタID	131
8- 5 ヘッドチェック	131
8- 6 自己診断	132
8- 7 テスト印字	133
8- 8 バーコード読取	134
8- 9 USBディスクモード	134
8-10 FTPクライアント機能	135
neo-3 プリンタエラー表示一覧	136

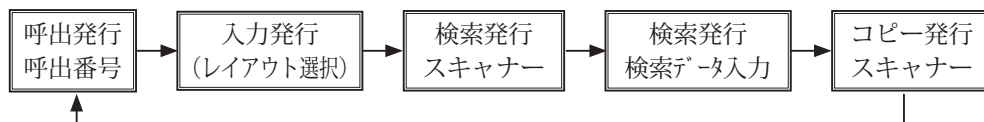
1 液晶画面について

■電源を入れると、メインメニューの初期画面が表示されます。下図のように矢印キーで画面を切り替えることができます。

■メインメニューで $\textcircled{\text{E}}$ 発行 キーを押すと下位の画面に入ります。



※ 1 呼出發行画面では、 $\textcircled{\text{F2}}$ キーを押すごとに、以下のように画面が切り替わります。



(レイアウトが作成されていない場合は、入力発行と検索発行（スキャナー／検索データ入力）ができません。)

● $\textcircled{\text{P}}$ 初期 キーで初期画面に戻ります。

※ 2 【値下発行】の場合

●値下発行は、値下レイアウトが作成されている場合に表示されます。

初期画面				各設定画面などへ
値下発行	発行枚数 ※ 2-1	社員 NO 入力 ※ 2-2	1 %引	各設定画面へ
			2 円引き	
			3 ズバリ価格	

※ 2-1 発行枚数は、設定→値下設定→値下枚数設定→指定枚数発行に設定されている場合に表示されます。

※ 2-2 社員 NO 入力は、付属の C D 「neo-3 Label Partner 取扱説明書」で値下ラベル作成ウィザードで社員番号使用にチェックされている場合に表示されます。

1 全体の画面構成について (つづき)

※3 【データ管理】の場合

初期画面					各設定画面などへ
データ管理	1 レイアウト	1 レイアウト設定	レイアウト選択	1 印字濃度	各設定画面へ
				2 印字位置調整	
				3 送り量調整	
				4 印字左右移動	
				5 印字方式	
				6 ラベル出し方向	
				7 印字速度設定	
				8 リアルタイム時間	
				9 印字後リストパターン	
				10 センサー設定	
				11 ラベル情報	表示画面へ
	2 登録件数				表示画面へ
	3 レイアウト確認	レイアウト選択			ラベルを発行
	2 プリセット	1 登録／編集	呼出番号		登録／編集画面へ
		2 登録件数	1 登録件数		表示画面へ
			2 レイアウト別件数	レイアウト選択	表示画面へ
		プリセット削除	1 指定番号削除		削除画面へ
			2 指定範囲削除		削除画面へ
			3 レイアウト単位削除	レイアウト選択	削除画面へ
			4 全部削除		削除画面へ
		4 一覧発行	開始番号選択		ラベルを発行
	3 テーブル	1 データ追加	テーブル選択		追加画面へ
		2 データ編集	テーブル選択		編集画面へ
		3 データ削除	テーブル選択		削除画面へ

1 全体の画面構成について（つづき）

初期画面					各設定画面などへ
データ管理	4 店舗情報	1 店舗番号設定			設定画面へ
		2 店舗情報確認	1 店番		確認画面へ
			2 会社		確認画面へ
			3 住所		確認画面へ
			4 電話		確認画面へ
	5 機械番号設定				設定画面へ
	6 値下実績	1 FTPサーバに転送			転送画面へ
		2 パートナーに転送			通信画面へ
		3 カードに保存			保存画面へ
	7 発行履歴送信				設定画面へ
	8 パートナーファイル	1 ファイルを保存			保存画面へ
		2 ファイルを読込			読込画面へ
		3 範囲指定で読込			読込画面へ
		4 ファイルを削除			削除画面へ
	9 バックアップ & 復元	1 バックアップ			CFカードにバックアップ
		2 復元			CFカードに復元
	10 レイアウト共通設定	1 総額端数処理	1 端数処理方式		各設定画面へ
			2 端数処理対象		
			3 端数処理桁目		
		2 和暦元年			設定画面へ
		3 和暦年号			
	11 CFカード初期化				設定画面へ
	12 消費税率				設定画面へ
	※3-1				
	13 軽減税率設定	1 軽減税率機能			設定画面へ
		2 軽減税率			
		3 標準税率			
		4 ホールド設定			
		5 デフォルト税率			

※3-1 neo-3 Label Partner からプリセットデータが本体にダウンロードされると、neo-3 Label Partner で設定された消費税率が（本体に設定を変更することを許可する／しないに関係なく）本体で設定された消費税率に上書きされます。

1 全体の画面構成について (つづき)

※4 【設 定】の場合

初期画面					各設定画面などへ
設 定	1 デバイス設定	1 内蔵時計設定			各設定画面へ
		2 LCD バックライト			
		3 LCD コントラスト			
		4 キーの操作音			
		5 エラー音設定			
		6 自動電源 OFF			
		7 スリープ設定			
		8 ハット 自動チェック			
		9 ライターレス設定			
		10 メインメニュー表示			
		11 通信方式選択			
	2 値下設定	1 値下集計			保存画面へ
		2 値下後戻る画面	1 メイン		保存画面へ
			2 値下発行		
			3 社員 No.		
			4 値下げ種類		
			5 値下げ額		
			6 スキャンング		
			7 発行枚数		
		3 値下枚数設定	1 常に 1 枚発行		保存画面へ
			2 常に枚数入力		
			3 指定枚数発行		
		4 印字方式切替			設定画面へ
		3 操作設定	1 初期画面	1 メイン	
	2 ラベル発行				
	3 値下発行				
	4 通信				
5 データ管理					
6 設定					
7 ツール					
2 呼出番号固定			設定画面へ		

1 全体の画面構成について (つづき)

初期画面							各設定画面などへ
設 定	3 操作設定	3 デフォルト呼出番号					各設定画面へ
		4 発行枚数固定					
		5 デフォルト発行枚数					
		6 発行前に確認					
		7 発行前に動作					
		8 印字後戻る画面	1 メイン				各保存画面へ
			2 呼出發行				
			3 一時変更				
			4 発行枚数				
			5 確認画面				
		9 UPCA/JAN13 指定					設定画面へ
		10 コピー発行枚数	コピー発行枚数入力				保存画面へ
		11 自動データ更新					設定画面へ
		12 時計確認表示					設定画面へ
	4 ネットワーク設定	1 通信ポート選択					選択画面へ
		2 無線 LAN 設定	1 SSID				各設定画面へ
			2 WEP キー設定				
			3 認証方式				
			4 WPA 接続の方式				
			5 チャンネル番号				
		3 TCP/IP 設定					設定画面へ
		4 サーバー設定	1 サーバ - IP アドレス				各設定画面へ
			2 ポート番号				
			3 ユーザ名				
			4 パスワード				
			5 ルート				
			6 NTP サーバ				
	5 設定値	1 一覧印刷					ラベルを発行
		2 出荷値に複製					各設定画面へ
		3 出荷値に戻す					
		4 ファイルに保存					
		5 ファイルから復元					

1 全体の画面構成について（つづき）

※5 【ツール】の場合

初期画面				各設定画面などへ		
ツール	1	バージョン情報		各表示画面へ		
	2	発行距離確認				
	3	MAC アドレス				
	4	プリンタID				
	5	ハットチェック		各設定画面へ		
	6	自己診断				
	7	テスト印字	1	斜線		ラベルを発行
			2	テストパターン		
			3	フォントサンプル		
			4	バーコードサンプル		
	8	バーコード読取			スキャナー読取	
	9	USBディスクモード			通信可能状態	
	10	FTPクライアント機能			ネットワーク接続状態	

2 初期画面について

2-1 初期画面の表示

- ①パワースイッチを押して電源を「オン」にすると、HALLO neo 画面に続き、メインメニューの初期画面になります。



- ②設定→操作設定→時計確認表示で「する」に設定すると、右図のような時計確認画面が表示されます。

確認後、 キーを押します。

※「しない」に設定されている場合は、表示されません。



- ③設定→操作設定→自動データ更新で「する」に設定すると、右図のようなFTPサーバとの通信状態の画面が表示されます。

※「しない」に設定されている場合は、表示されません。



- バッテリーパックでご使用のときは、初期画面の左上に電池残量マーク  が表示されます。

※ AC コンバータでご使用のときは、初期画面の左上に  マークが表示されます。

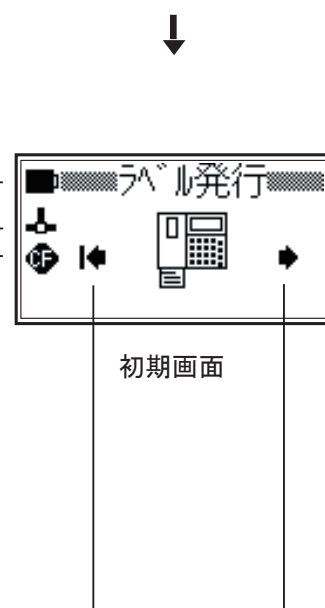
- インターフェイスがLAN・USB仕様の場合は、LANマーク  が表示されます。

※オプションでインターフェイスが無線LAN仕様の場合は、無線LANマーク  が表示されます。

※ここでは、初期画面がアイコン表示に設定されています。

- 本体にCFカードを挿入した場合には表示されます。

- 同じ階層に別のメニューがある場合は、  が表示されます。



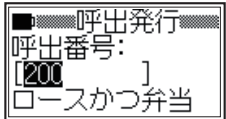
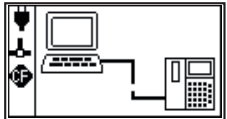
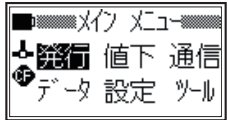
- ③初期画面は、メインメニューまたはラベル発行・値下発行・通信・データ管理・設定・ツールに関する選択画面から設定できます。

※初期画面の設定は、設定⇒操作設定⇒初期画面をお読み下さい。

- メインメニューの表示は、「アイコン」、「文字」または「リスト」から選択できます。

※メインメニューの表示方法は、メインメニューの設定⇒デバイス設定⇒メインメニュー表示をお読み下さい。

2 初期画面について (つづき)

初期画面	初期画面の下位画面		
メイン メニュー (アイコン表示) 	ラベル発行の下位画面 ※品名を1項目設定時 	値下発行の下位画面 ※値下レイアウト 1 件のみ作成時 	通信可能状態の画面 
メイン メニュー (文字表示) 	データ管理の下位画面 	設定の下位画面 	ツールの下位画面 
メイン メニュー (リスト表示) 			

※値下発行は、値下レイアウトが作成されている場合に表示されます。

2-2 電池残量表示 (電源にバッテリーパックを使用している場合)

■電池残量は、液晶画面の左上に 5 段階で表示されます。

段階 1 : 満充電 段階 2 : 3/4 段階 3 : 1/2 段階 4 : 1/4 段階 5 : 即充電



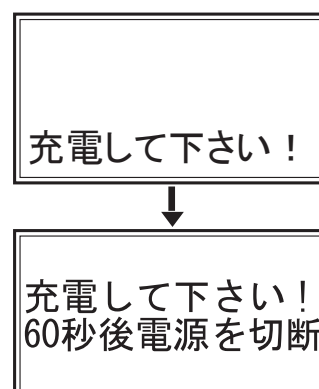
■バッテリーパックの電池残量が少なくなると、2 段階でエラーメッセージを表示します。

「第 1 段階」——「充電して下さい！」と表示されます。

さらに、電池残量がなくなると、

「第 2 段階」——「充電して下さい！ 60 秒後電源を切断」と表示されます。

※この間に印字をしていて「充電してください！」と表示された場合は、印字を中止します。



3 ラベル発行について

下図のようにレイアウトされたプリセットデータが本体に登録されている場合について、説明します。

呼出番号 [200] 番に登録されているとします。

サンプルラベル



●登録されたプリセットデータによって、入力項目や文字数が異なりますが、基本的な操作はここで説明するサンプルラベルと同じです。

●次ページ②で例題にしている呼び出し番号 [200] は、ラベルサイズが「55 × 43」(幅 55mm・高さ 43mm) に設定されています。

※ラベルの停止位置などの微調整は、データ管理⇒レイアウト⇒レイアウト設定⇒レイアウトの選択⇒レイアウト設定に関する選択項目を参照して下さい。

※本体では、レイアウトの作成はできませんので、「neo-3 Label Partner」で作成して下さい。

※作成方法は、付属のCD「neo-3 Label Partner 取扱説明書」をお読み下さい。

補足

●サンプルラベルのプリセットデータの各項目リスト

品 名	～「ローズかつ弁当」
原材料	～「原材料：ご飯、揚げ物・・・・・ ・・・・ ・・・・」
期限補正值	～「消費期限」
バーコード	～「JAN13 桁 NONPLU」
価 格	～1200
住 所	～「(株)ハロー食品・・・・・ 北区・・・・・ TEL・・・・・」
リサイクルマーク	～「プラ 6mm」

3 ラベル発行について (つづき)

①電源を入れると、初期画面が表示されます。

ラベル発行が選択されたまま (E 発行) キーを押します。



初期画面

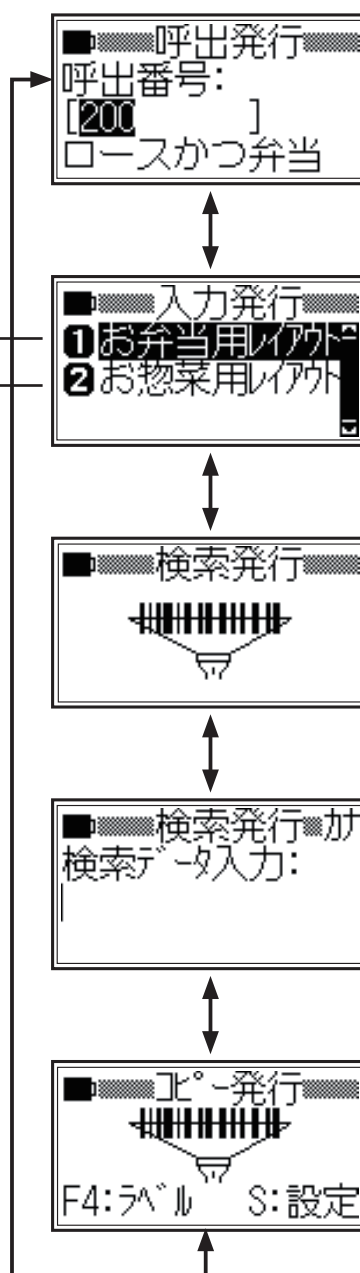
※ここでは、初期画面がアイコン表示に設定されています。

②呼出發行画面が表示されます。

呼出發行画面で (F2) キーを押すごとに、発行方式の画面が切り替わります。

※ (P 初期) キーでラベル発行画面に戻ります。

※レイアウトが2件作成されています。



3-1 呼出發行

- 本体に登録（プリセット）されているプリセットデータを呼び出して、ラベル発行を行います。
-

- ①初期画面「ラベル発行」で  キーを押します。



初期画面



- ②呼出番号を入力します。

サンプルラベルのプリセットデータは、呼出番号 [200] に登録されていますので、数字キーで [200] と入力し  キーを押します。



- 品名が「キー項目」に設定がされている場合は、「ロースかつ弁当」と表示されます。

※「キー項目」の設定方法は、付属のCD「neo-3 Label

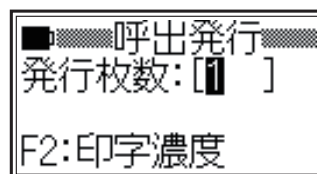
Partner 取扱説明書」をお読み下さい。

- 呼出番号が「設定」⇒「操作設定」⇒「呼出番号固定」に設定されている場合は、この画面は表示されずに③に進みます。

3 ラベル発行⇒呼出發行について (つづき)

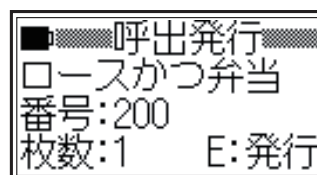
③発行枚数を入力し  キーを押します。

●発行枚数が、「設定」⇒「操作設定」⇒「デフォルト発行枚数固定」で設定されている場合は、この画面が表示されずに④画面に進みます。



④確認画面が表示されます。

 キーを押すとラベルを発行します。



※「設定」⇒「操作設定」⇒「発行前に確認」画面で、「発行前に一旦確認? : しない」に設定している場合は、この確認画面を表示しないで次項のラベル発行をします。

※  キーを押すとラベル発行を一時停止します。
(複数枚印字をする時)

 キーを押すとラベル発行を再開します。

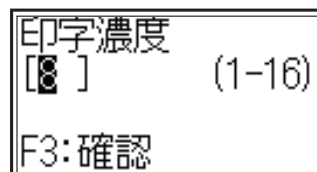


⑤ラベル発行後、呼出番号入力画面に戻ります。

※発行後の画面設定は、「設定」⇒「操作設定」⇒「印字後戻る画面」でできます。

補足

●発行枚数入力画面で  キーを押すと印字濃度の設定ができます。



※印字濃度の設定は、「データ管理」⇒「レイアウト」⇒「レイアウト設定」⇒「お弁当用レイアウト」を選択からでもできます。

3-2 入力発行

■本体に登録されているプリセットデータのレイアウトにデータを入力してラベルを発行します。

- ① (F2) 矢印キーで入力発行を選択します。

ここでは、レイアウトが2件作成されていることがわかります。

サンプルデータは、お弁当レイアウトで作成され呼出番号[200]に登録されています。



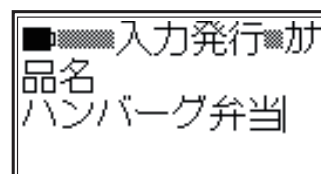
お弁当レイアウトの選択画面のまま (E 発行) キーを押します。

- ②品名の入力画面が表示されますので、文字キーで入力して

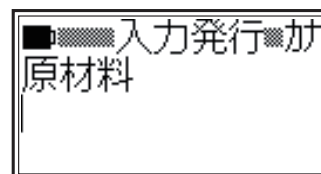
(E 発行) キーを押します。

たとえば、「ハンバーグ弁当」と入力します。

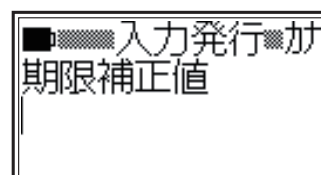
※文字キーを操作するときは、(F4) キーを押して画面右上を「卩」表示にして入力します。



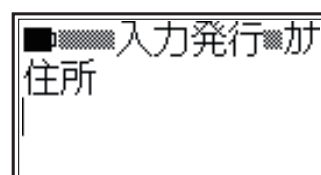
- ③次に、原材料の入力画面が表示されますので、文字キーで入力して (E 発行) キーを押します。



- ④続けて、期限補正值の入力画面が表示されますので、文字キーで入力して (E 発行) キーを押します。

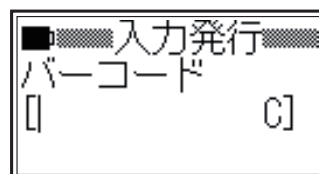


- ⑤続けて、住所の入力画面が表示されますので、文字キーで入力して (E 発行) キーを押します。

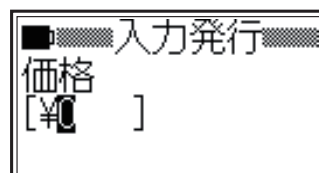


3 ラベル発行⇒入力発行について (つづき)

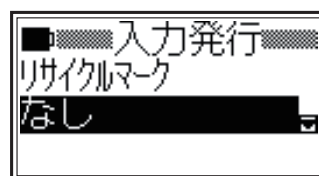
- ⑥続けて、バーコードの入力画面が表示されますので、数字キーでバーコードの最初の12桁を入力して  キーを押します。



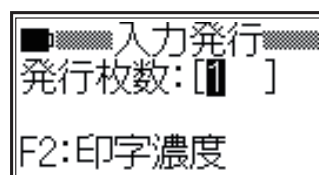
- ⑦続けて、価格の入力画面が表示されますので、数字キーで入力して  キーを押します。



- ⑧続けて、リサイクルマークの選択画面が表示されますので、画面右側の矢印キーでリサイクルマークを選択します。



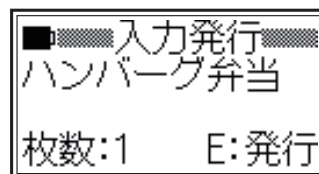
- ⑨発行枚数を入力し  キーを押します。



- ⑩確認画面が表示されます。

 キーを押すとラベルを発行します。

※「設定」⇒「操作設定」⇒「発行前に確認」画面で、「発行前に一旦確認? : しない」に設定している場合は、この確認画面を表示しないでラベル発行します。



- ⑪ラベル発行後、品名の入力画面に戻ります。



3-3 スキャナーによる検索発行

■スキャナーで読み込んだバーコードと本体に登録されているプリセットデータのバーコードとを検索して、ラベルを発行します。

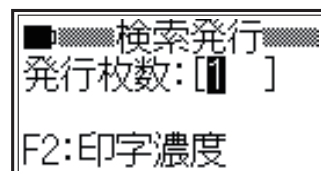
- ① (F2) キーでスキャナーによる検索発行を選択し、ラベルのバーコードをスキャナーで読み取ります。

たとえば、サンプルラベルのバーコードを読み込みます。



- ②発行枚数を入力します。

たとえば、[1] のまま (E 発行) キーを押します。



- ③確認画面が表示されます。

(E 発行) キーを押すとラベルを発行します。

※「設定」⇒「操作設定」⇒「発行前に確認」画面で、「発行前に一旦確認? : しない」に設定している場合は、この確認画面を表示しないでラベル発行します。



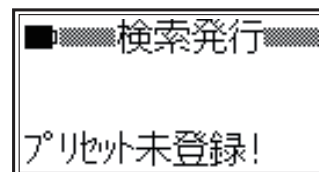
- ④ラベル発行後、検索発行画面に戻ります。



3 ラベル発行⇒スキャナーによる検索発行について（つづき）

補足

- 読み込んだ後にラベル発行をしないで別のラベルを読み込みたい場合は、キーまたはキーを押すと検索発行画面に戻ります。
- スキャナー読み込んだラベルが本体に登録されていない場合は、「プリセット未登録」と表示して検索発行画面に戻ります。



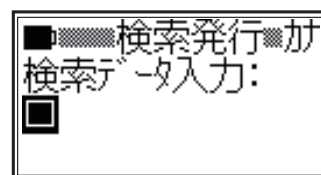
- [NONPLU] のバーコードの場合は、[F + アイテムコード] の部分のみ検索します。
 - 読み込んだバーコードが重複して登録されている場合は、検索したデータの一覧を表示しますので、矢印キーで選択する事ができます。
- (NONPLU で F+ アイテムコードは同一で、ラベルの商品名だけ異なる運用がされているような場合)

3-4 検索データ入力による検索発行

■キー項目に設定されているプリセットデータから検索してラベルを発行します。(先頭の一文字でも検索ができます。)

※キー項目の設定は、付属のCD「neo-3 Label Partner 取扱説明書」をお読み下さい。

- ① (F2) キーで検索データ入力による検索発行画面を選択します。



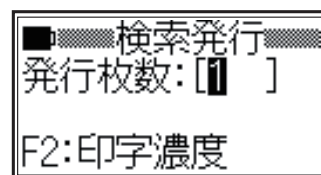
ここでは、(F4) キーを押して画面右上を「卍」表示にして、文字キーで「口」と入力し、矢印キーで大文字の「口」を選択して (E 発行) キーを押すと確定します。

もう一度、(E 発行) キーを押します。

※複数候補がある場合は、一覧が表示されますので矢印キーで選択します。

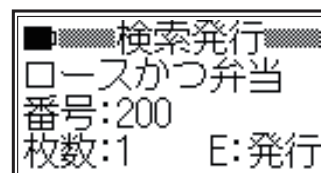


- ②発行枚数を入力し (E 発行) キーを押します。



- ③確認画面が表示されます。

(E 発行) キーを押すとラベルを発行します。

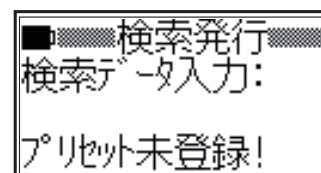


- ④ラベル発行後、検索データ入力画面に戻ります。



補足

- 検索データ入力画面で登録されていない文字を入力すると、「プリセット未登録」と表示して検索データ入力による検索画面に戻ります。



3-5 コピー発行

■スキャナーで読み取ったバーコードと同じバーコードのラベルを発行します。

- ① (F2) キーでコピー発行を選択します。



- ②スキャナーでバーコードを読み取り、同じバーコードをラベル発行します。

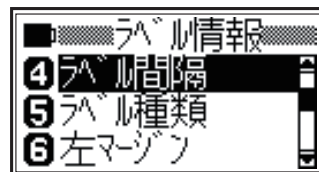
※コピー発行枚数は、「設定」⇒「操作設定」⇒「コピー発行枚数」で設定することができます。



ラベル発行が終わると、コピー発行画面に戻ります。

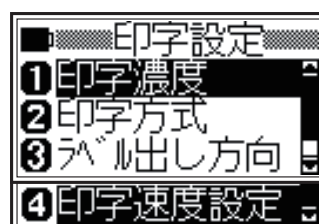
- (F4) キーを押すと、ラベル情報の表示およびラベルの各種設定ができます。

※なお、ここで表示および設定できるラベルは、「コピー発行ラベル」専用になります。



- (S_{停止}) キーを押すと、印字の各種設定ができます。

※なお、ここで設定できるラベルは、「コピー発行ラベル」専用になります。



4 値下発行について

■元価格に対して、%引・円引き・ズバリ価格による値下発行をします。

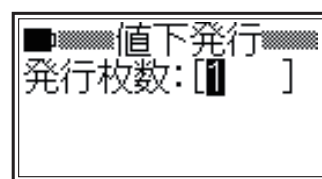
- ①初期画面で「値下発行」を矢印キーで選択し  キーを押します。



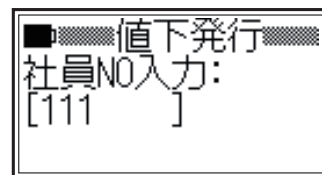
初期画面

※ここでは、初期画面がアイコン表示に設定されています。

※「設定」⇒「値下設定」⇒「値下枚数設定」画面で「指定枚数発行」に設定されていると、この発行枚数入力画面が表示されます。



※「neo-3 Label Partner」の値下ラベル作成ウィザードで社員No.入力が設定されていると、この社員No.入力画面が表示されます。



(上の※印の「値下枚数設定」画面で「指定枚数発行」が設定されていると、発行枚数入力画面の後に表示されます。)

ここでは、[111] と入力しています。

※社員No.入力の設定方法は、付属のCD「neo-3 Label Partner 取扱説明書」をお読み下さい。



- ②値下発行に関する選択画面が表示されます。

※値下の設定方法は、付属のCD「neo-3 Label Partner 取扱説明書」をお読み下さい。



4-1 %引による値下発行

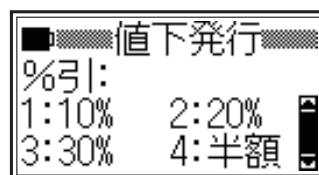
■元価格に対して、%引による値下発行をします。

①%引が選択されたまま  キーを押します。



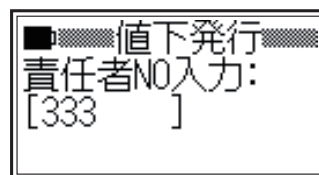
②%引の選択画面が表示されます。

たとえば、%引：番号 [2:20%] を選択します。



※%引：[4:半額] のを選択し、「neo-3 Label Partner」で責任者No.入力が設定されている場合は、この責任者No.入力画面が表示されます。

ここでは、[333] と入力しています。



※責任者No.入力の設定方法および%引の設定方法は、付属のCD「neo-3 Label Partner 取扱説明書」をお読み下さい。



③ 20%引きの値下発行画面が表示されます。

 キーを押します。

この画面で  キーを押すと、印字濃度の変更ができます。



※「値下設定」⇒「印字方式切替」画面で「Sキーで発行方式を切替える」に設定されている場合は、この切替画面が表示されます。

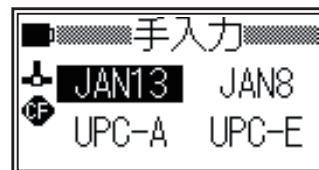
この画面で  キーを長押しするごとに「連続」⇒「剥離」が交互に切り替わります。



4 値下発行⇒%引による値下発行について (つづき)

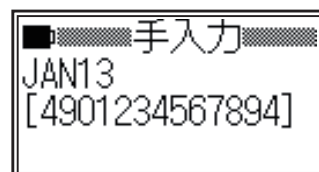
④バーコードの選択画面が表示されます。

たとえば、JAN13 桁を選択し、 キーを押します。



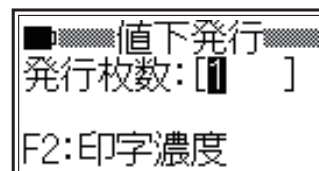
⑤ JAN13 桁のバーコードを入力します。

たとえば、[4901234567894] と入力し、 キーを押します。



※「値下枚数設定」画面で「常に枚数入力」に設定されている場合は、この発行枚数入力画面が表示されます。

たとえば、[1] のまま  キーを押します。



ここでは、「値下設定」⇒「印字方式切替」画面で「Sキーで発行方式を切替えない」に設定されています。



※「値下枚数設定」画面で「常に1枚発行」に設定されている場合は、この発行枚数入力画面は表示されずに次項のように値下ラベルを発行します。

⑥値下ラベルを発行します。

値下ラベル発行後、値下発行画面に戻ります。

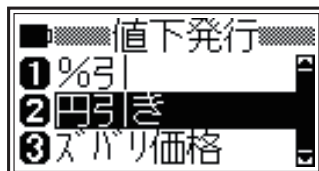


※「設定」⇒「値下設定」⇒「値下後戻る画面」で戻る画面を各種設定することができます。

4-2 円引きによる値下発行

■元価格に対して、円引き金額による値下発行をします。

①円引きを矢印キーで選択し、 キーを押します。



②円引きの入力画面が表示されます。

たとえば、[100] 円引と入力して  キーを押します。



③ 100 円引きの値下発行画面が表示されます。

 キーを押します。

※この画面で  キーを押すと、印字濃度の変更ができます。



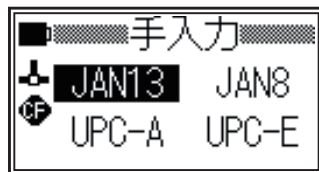
※「値下設定」⇒「印字方式切替」画面で「Sキーで発行方式を切替える」に設定されている場合は、この切替画面が表示されます。

この画面で  キーを長押しするごとに「連続」⇒「剥離」が交互に切り替わります。



④バーコード種類の画面が表示されます。

たとえば、JAN13 桁を選択し、 キーを押します。



4 値下発行⇒円引きによる値下発行について (つづき)

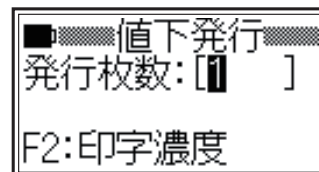
⑤ JAN13 桁のバーコードを入力します。

たとえば、[4901234567894] と入力し、 キーを押します。



※「値下枚数設定」画面で「常に枚数入力」に設定されていると、この発行枚数入力画面が表示されます。

たとえば、[1] のまま  キーを押します。



ここでは、「値下設定」⇒「印字方式切替」画面で「Sキーで発行方式を切替えない」に設定されています。

※「値下枚数設定」画面で「常に1枚発行」に設定されていると、この発行枚数入力画面は表示されずに次項のように値下ラベルを発行します。



⑥値下ラベルを発行します。

値下ラベル発行後、値下発行画面に戻ります。

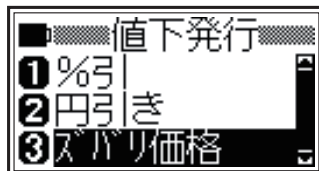


※「設定」⇒「値下設定」⇒「値下後戻る画面」で戻る画面を各種設定することができます。

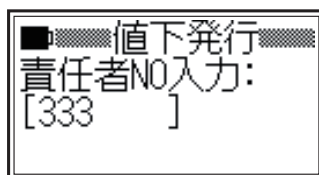
4-3 ズバリ価格による値下発行

■元価格に対して、値引後価格を入力して値下発行をします。

①ズバリ価格を矢印キーで選択し、キーを押します。



※「neo-3 Label Partner」で責任者No.入力が設定されていると、この責任者No.入力画面が表示されます。
ここでは、[333] と入力しています。



※責任者No.入力の設定方法は、付属のCD「neo-3 Label Partner 取扱説明書」をお読み下さい。

②ズバリ価格の入力画面が表示されます。
たとえば、[500] 円と入力して  キーを押します。



③ズバリ価格 500 円の値下発行画面が表示されます。
 キーを押します。



この画面で  キーを押すと、印字濃度の変更ができます。

※「値下設定」⇒「印字方式切替」画面で「Sキーで発行方式を切替える」に設定されている場合は、この切替画面が表示されます。

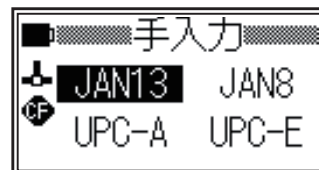


この画面で  キーを長押しするごとに「連続」⇒「剥離」が交互に切り替わります。

4 値下発行⇒ズバリ価格による値下発行について (つづき)

④バーコードの選択画面が表示されます。

たとえば、JAN13 桁を選択し、 キーを押します。



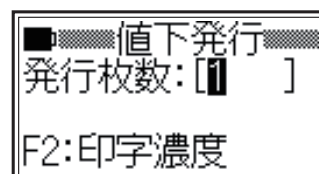
⑤ JAN13 桁のバーコードを入力します。

たとえば、「4901234567894」と入力し、 キーを押します。



※「値下枚数設定」画面で「常に枚数入力」に設定されていると、この発行枚数入力画面が表示されます。

たとえば、[1] のまま  キーを押します。



ここでは、「値下設定」⇒「印字方式切替」画面で「Sキーで発行方式を切替えない」に設定されています。

※「値下枚数設定」画面で「常に1枚発行」に設定されていると、この発行枚数入力画面は表示されずに次項のように値下ラベルを発行します。



⑥値下発行ラベルを発行します。

ラベル発行後、値下発行画面に戻ります。



※「設定」⇒「値下設定」⇒「値下後戻る画面」で戻る画面を各種設定をすることができます。

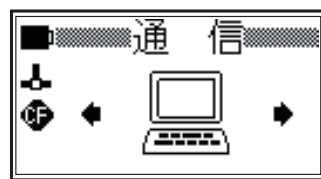
5 通信について

■パソコン上の「neo-3 Label Partner」で作成したデータを送信して本体の内蔵メモリーやメモ리카ードに登録したり、本体上の各種データをパソコン側に受信したりします。

■「neo-3 Label Partner」の操作方法や通信方法は、付属のCD「neo-3 Label Partner 取扱説明書」をお読み下さい。

- ①初期画面で「通信」を矢印キーで選択し、キーを押します。

※ここでは、初期画面がアイコン表示に設定されています。



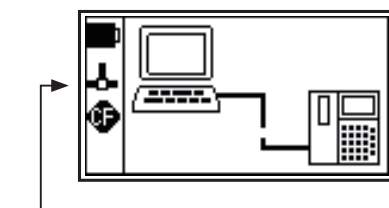
- ②通信可能状態を表示します。

この状態で、本体とパソコン間で各種データの送受信を行います。

- インターフェースがLAN・USB仕様の場合は、

LANマーク が表示されます。

※オプションでインターフェースが無線LAN仕様の場合は、無線LANマーク が表示されます。



通信終了後、キーを押すと通信画面に戻ります。

6 データ管理について

■レイアウトの設定・確認、プリセットとテーブルの追加・編集・削除をします。

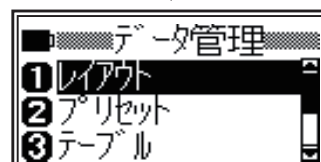
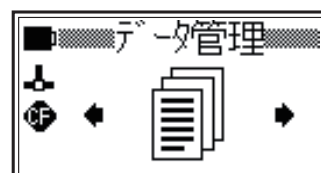
※特に、プリセットとテーブルの編集・削除する場合は、データが変更または削除されますので、十分注意して操作を行ってください。

■値下履歴データの転送・保存・本体データのバックアップをします。

- ①初期画面で「データ管理」を矢印キーで選択し  キーを押します。

※ここでは、初期画面がアイコン表示に設定されています。

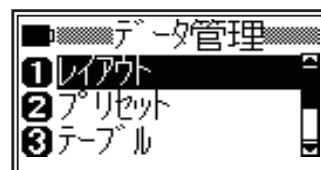
- ②データ管理画面が表示されます。



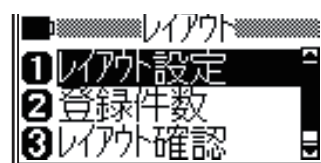
6-1 レイアウト

■レイアウトの設定・レイアウトの登録件数の確認・レイアウトのラベル発行をします。

- ①レイアウトが選択されたまま  キーを押します。



- ②レイアウトに関する選択画面が表示されます。



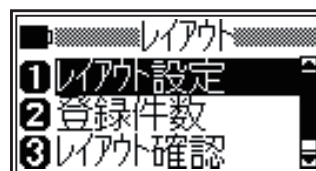
6-1-1 レイアウト設定

■レイアウトの各項目を設定します。

※レイアウト設定は、レイアウトごとになります。

①レイアウト画面からレイアウト設定が選択されたまま

 キーを押します。



②登録されているレイアウトが表示されます。

サンプルラベルは、お弁当用レイアウトで作成されていますので、このまま  キーを押します。



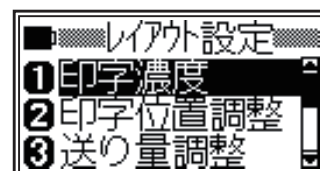
③レイアウト設定に関する選択画面が表示されます。



(1) 印字濃度

■ラベルの印字濃度を設定します。

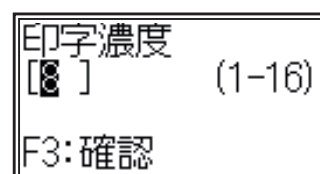
①印字濃度を矢印キーで選択し、 キーを押します。



②印字濃度を設定します。

●設定範囲：1（薄）～16（濃）

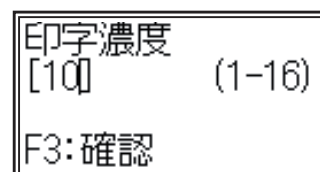
※変更しない場合は、 キーか  キーを押すと、レイアウト設定画面に戻ります。



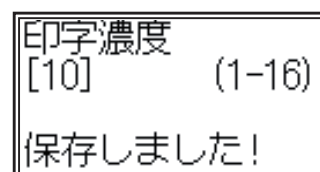
たとえば、印字濃度を10に変更します。

※  キーを押すごとに、[1] ごと減算されます。

※  キーを押すごとに、[1] ごと加算されます。



③  キーを押すと確定し、レイアウト設定画面に戻ります。



補足

●項目②の印字濃度設定画面で  キーを押すと、設定された印字濃度でラベルが発行されます。

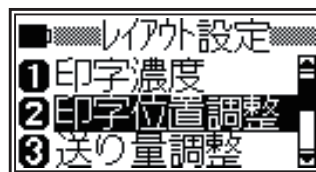
●発行されたラベルを参考にして、印字濃度を設定して下さい。



(2) 印字位置調整

■ラベルに対して印字開始位置を調整することができます。

①印字位置調整を矢印キーで選択し、キーを押します。



②印字位置調整値を設定します。

●設定範囲：-10 ～ 10

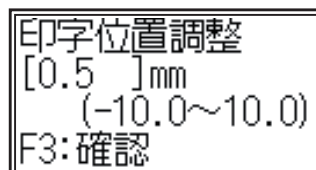
※変更しない場合は、キーか キーを押すと、レイアウト設定画面に戻ります。



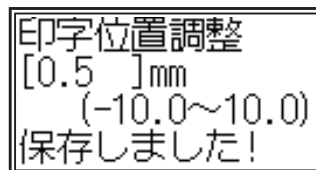
たとえば、印字位置調整値を 0.5 に変更します。

※  キーを押すごとに、[0.1]mm ごと減算されます。

※  キーを押すごとに、[0.1]mm ごと加算されます。



③  キーを押すと確定し、レイアウト設定画面に戻ります。



補足

●項目②の印字位置調整画面で  キーを押すと、設定された印字位置調整値でラベルが発行されます。

●発行されたラベルを参考にして、印字位置調整値を設定して下さい。



(3) 送り量調整

■印字方式がティアオフ発行に設定されている時に、最後のラベルを切り取りやすい位置までラベルを送り出します。

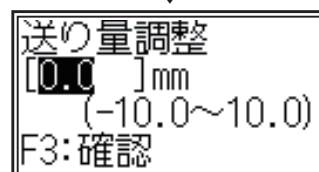
■印字方式が剥離発行に設定されている時に、ラベルを台紙から剥離させて取り出しやすい位置までラベルを送り出します。

①送り量調整を矢印キーで選択し、 キーを押します。



②送り量を設定して、印字後のラベルの送り量を調整します。

●設定範囲：-10.0 ～ 10.0



※変更しない場合は、 キーか  キーを押すと、レイアウト設定画面に戻ります。

たとえば、送り量を 0.5 に変更します。

※  キーを押すごとに、[0.1]mm ごと減算されます。

※  キーを押すごとに、[0.1]mm ごと加算されます。



③  キーを押すと確定し、レイアウト設定画面に戻ります。



補足

●項目②の送り量調整画面で  キーを押すと、設定された送り量で白紙ラベルが発行されます。

●発行されたラベルを参考にして、送り量を設定して下さい。



(4) 印字左右移動

■ラベルを発行した時に印字位置が左右にずれた時に、プリセットデータがラベルの中央にくるように調整をします。

①印字左右移動を矢印キーで選択し、 キーを押します。



②印字左右移動値を設定します。

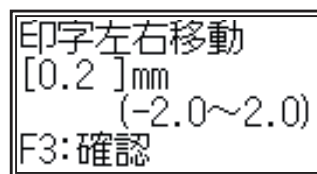
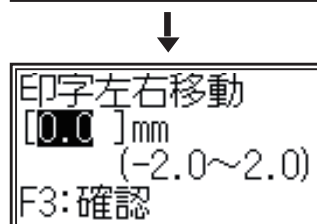
●設定範囲：-2.0 ～ 2.0

※変更しない場合は、 キーか  キーを押すと、レイアウト設定画面に戻ります。

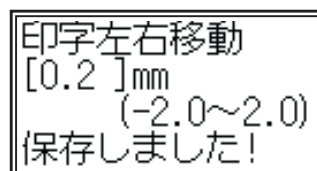
たとえば、 キーを2回押して [0.2]mm と入力すると、印字位置が右方向へ 0.2mm 移動します。

※  キーを押すごとに、[0.1]mm ごと減算されます。

※  キーを押すごとに、[0.1]mm ごと加算されます。



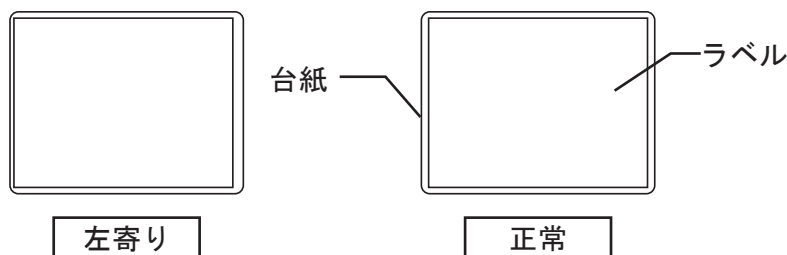
③  キーを押すと確定し、レイアウト設定画面に戻ります。



補足

●項目②の印字左右移動画面で  キーを押すと、設定された印字左右移動値でラベルが発行されます。

●発行されたラベルを参考にして、印字左右移動値を設定して下さい。



(5) 印字方式

■印字方式を「連続」「ティア」「剥離」から選択することができます。

●連続発行は、印字が終了した状態のまま、ラベルが排出口の奥に停止します。

※ラベルを切り離すためには、「データ管理」⇒「レイアウト」⇒「レイアウト設定」⇒「印字後テストパターン」の設定を「あり」にするかラベル発行後、「呼出發行」⇒「呼出番号」⇒「発行枚数の入力」画面で (F3) キーで白紙ラベルを発行します。

●ティア発行は、最後のラベルの印字が終了したら、切り取り位置まで送り出されます。

●剥離発行は、ラベルを取り出しやすいようにラベルの一部を台紙に残し、その他の部分を剥離させて発行します。

①印字方式を矢印キーで選択し、(E発行) キーを押します。

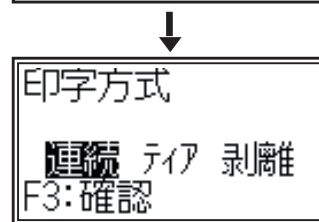
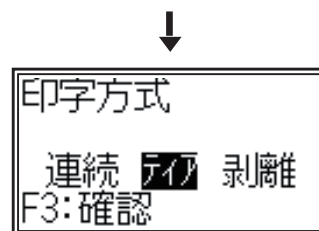


■連続を選択する場合

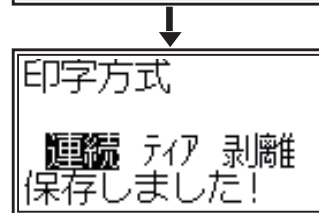
①印字方式を設定します。

※変更しない場合は、(P初期) キーか (E発行) キーを押すと、レイアウト設定画面に戻ります。

ここで、矢印キーで連続を選択し (E発行) キーを押します。



②連続に確定し、レイアウト設定画面に戻ります。



補足

●項目①の連続選択画面で (F3) キーを押すと、白紙ラベルが連続発行されます。

●発行されたラベルを参考にして、印字方式を設定して下さい。



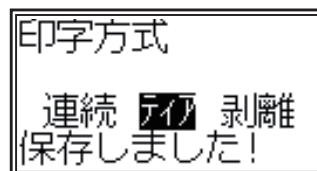
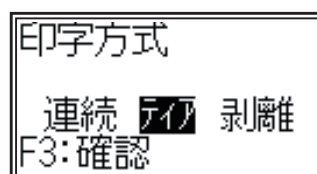
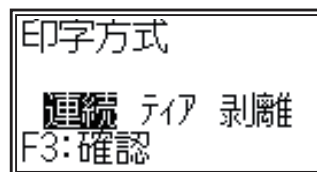
■ティアを選択する場合

①印字方式を設定します。

※変更しない場合は、**(P 初期)** キーか **(E 発行)** キーを押すと、レイアウト設定画面に戻ります。

ここで、矢印キーでティアを選択し **(E 発行)** キーを押します。

②ティアに確定し、レイアウト設定画面に戻ります。



補足

- 項目①のティア選択画面で **(F3)** キーを押すと、白紙ラベルがティア発行されます。
- 発行されたラベルを参考にして、印字方式を設定して下さい。

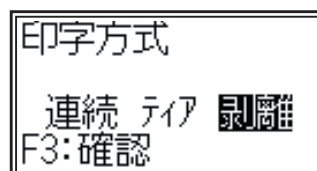
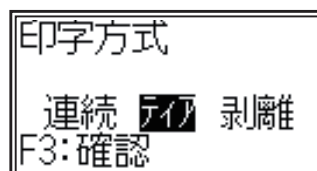


■剥離を選択する場合

①印字方式を設定します。

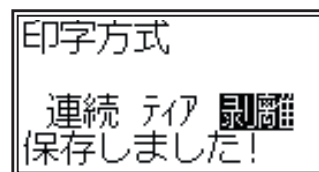
※変更しない場合は、**(P 初期)** キーか **(E 発行)** キーを押すと、レイアウト設定画面に戻ります。

ここで、矢印キーで剥離を選択し **(E 発行)** キーを押します。

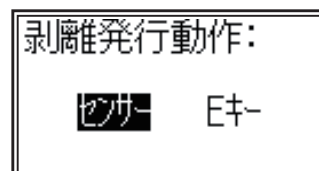


6 データ管理⇒レイアウトについて (つづき)

②剥離に確定し、剥離発行動作画面になります。

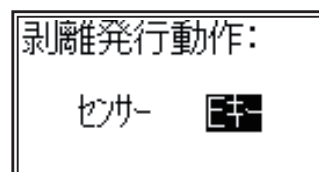


③矢印キーで「センサー」または「Eキー」を選択します。



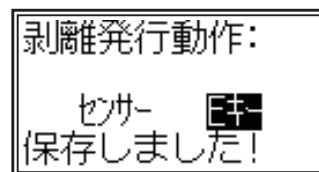
※「センサー」に設定すると、ラベルを取り除くと自動で次のラベルが発行されます。

※「Eキー」に設定すると、 キーを押すごとに次のラベルを発行します。



たとえば、剥離発行動作をEキーに変更します。

矢印キーでEキーを選択し  キーを押すと確定し、レイアウト設定画面に戻ります。



補足

●項目①の剥離選択画面で  キーを押すと、白紙ラベルが剥離発行されます。

※剥離発行する前に、剥離発行モードに合わせてラベルをセットして下さい。

(ラベルのセット方法は、別冊「本体編」の取扱説明書をご覧ください。)

●発行されたラベルを参考にして、印字方式を設定して下さい。



(6) ラベル出し方向

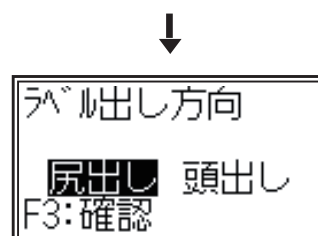
■ラベルを発行するとき、印字データが正視できる方向（尻出し）にするか、逆視方向（頭出し）から印字させるかを設定します。

①ラベル出し方向を矢印キーで選択し、 キーを押します。



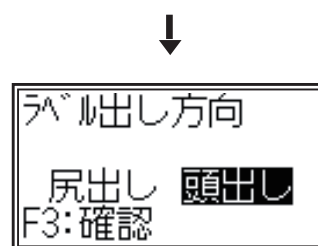
②ラベル出し方向を設定します。

※変更しない場合は、 キーか  キーを押すと、レイアウト設定画面に戻ります。

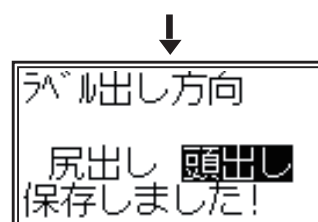


たとえば、矢印キーで頭出しに変更します。

矢印キーで頭出しを選択し  キーを押します。



頭出しに確定し、レイアウト設定画面に戻ります。



補足

- 項目②のラベル出し方向選択画面で  キーを押すと、ラベルが設定された方向で発行されます。
- 発行されたラベルを参考にして、ラベル出し方向を設定して下さい。



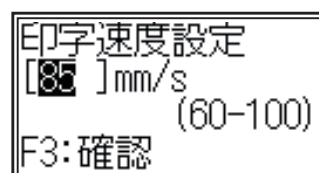
(7) 印字速度設定

■印字速度を設定することができます。

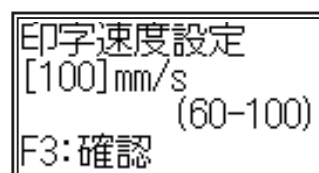
①印字速度設定を矢印キーで選択し、 キーを押します。



②印字速度を設定します。



※変更しない場合は、 キーか  キーを押すと、レイアウト設定画面に戻ります。

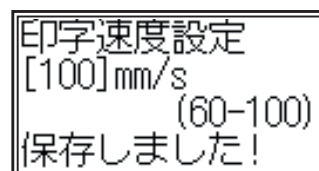


たとえば、印字速度を100に設定し、 キーを押します。

※  キーを押すごとに、[10]mm ごと減算されます。

※  キーを押すごとに、[10]mm ごと加算されます。

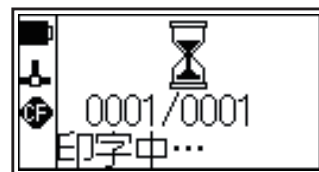
[100]mm/s に確定し、レイアウト設定画面に戻ります。



補足

●項目②の印字速度設定画面で  キーを押すと、設定された印字速度でラベルが発行されます。

※印字速度を上げると印字品質は、低下します。



●発行されたラベルを参考にして、印字速度を設定して下さい。

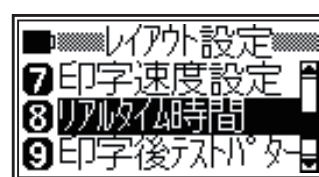
(8) リアルタイム時間

■リアルタイム時間「しない」【デフォルト】の設定では、ラベル 1 枚目発行時の内蔵時計に合わせて、発行終了まで印字します。

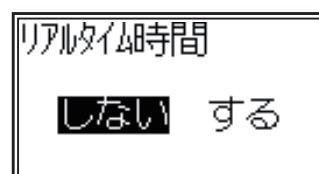
■リアルタイム時間「する」に設定すると、ラベル発行中でも内蔵時計に合わせて印字します。

①レイアウト設定からリアルタイム時間を矢印キーで選択し、

 キーを押します。

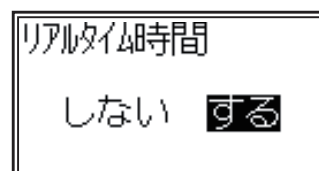


②リアルタイム時間を設定します。

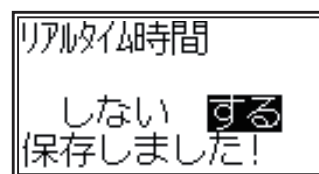


矢印キーで「する」に変更し  キーを押します。

※「する」に設定されると、1枚目のラベルの内蔵時計に合わせて発行終了まで印字されます。



「する」に確定し、レイアウト設定画面に戻ります。



※変更しない場合は、 キーか  キーを押すと、レイアウト設定画面に戻ります。

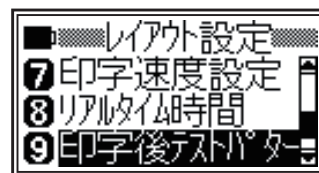
(9) 印字後テストパターン

■ラベル発行後に、テストパターンラベルを発行するかの設定をします。

前記(5)の印字方式で連続発行に設定された場合は、最後の1枚がラベル排出口の奥に残りますので、印字後テストパターン「あり」に設定するとラベルを切り離せます。

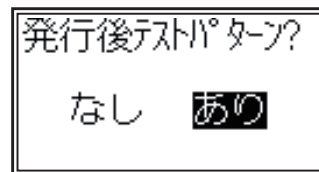
※次回ラベル発行時に先頭ラベルは、テストパターンのラベルとなります。

- ①レイアウト設定から印字後テストパターンを矢印キーで選択し、キーを押します。



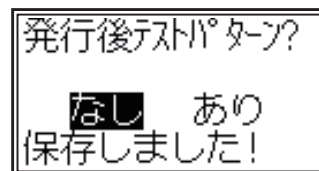
- ②テストパターン画面が表示されます。

ラベル発行後にテストパターンを発行しない場合は、「なし」選択し  キーを押します。



※ラベル発行後にテストパターンを発行する場合は、「あり」に選択のまま  キーを押すと印字後テストパターン画面に戻ります。

- ③保存され、印字後テストパターン画面に戻ります。



(10) センサー設定

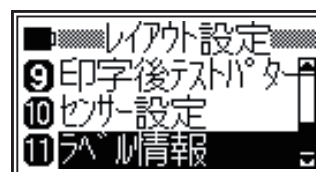
■マークセンサーとギャップセンサーの感度を調整します。

※通常は、使用しません。

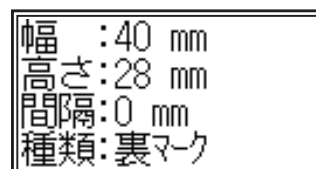
(11) ラベル情報

■設定されたラベルの仕様を表示します。

①ラベル情報を矢印キーで選択し、キーを押します。



②設定されたラベルの仕様を表示します。



※ キーか キーを押すと、ラベル情報画面に戻ります。

6-1-2 登録件数

■登録されたレイアウト件数を表示します。

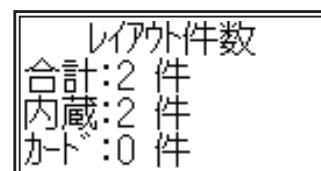
①レイアウト画面から矢印キーで登録件数を選択し、

 キーを押します。



②レイアウトが2件作成されていることが分かります。

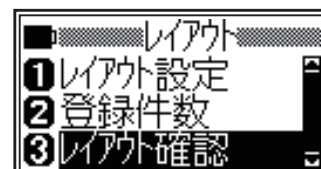
※  キーか  キーを押すと、レイアウト画面に戻ります。



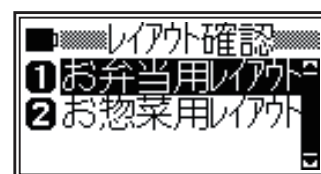
6-1-3 レイアウト確認

■登録されたレイアウトをラベル発行して確認します。

①レイアウト画面でレイアウト確認を選択し、 キーを押します。



②お弁当用レイアウトを選択のまま  キーを押します。



③お弁当用レイアウトのラベルが発行され、レイアウト確認画面に戻ります。



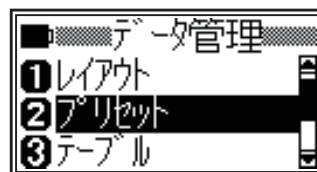
6-2 プリセット

■プリセットデータの登録・編集、登録件数の確認および削除をします。

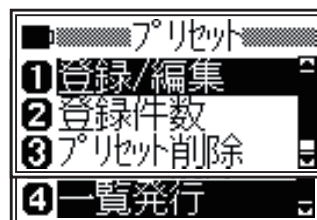
※特に、プリセットデータの編集・削除する場合は、プリセットデータが変更または削除されますので、十分注意して操作を行ってください。

①データ管理画面からプリセットを矢印で選択し、

 キーを押します。



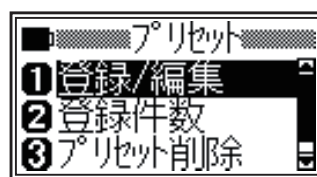
②プリセットに関する選択画面が表示されます。



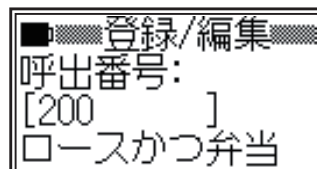
6-2-1 登録／編集

■プリセットデータの登録・編集をします。

①プリセット画面から登録 / 編集が選択されたまま  キーを押します。



②編集したいプリセットデータの呼出番号を入力し  キーを押します。
たとえば、サンプルラベルの呼出番号 [200] を入力します。



6 データ管理⇒プリセットについて (つづき)

③品名を編集します。

たとえば、ロースかつ弁当をチキンかつ弁当に変更します。

 キーを押し、ロースの文字を消します。

「チキン」を入力します。

 キーを2回押し「チ」の半角文字を選択、続けて

 キーを2回押し「キ」の半角文字を選択、次に

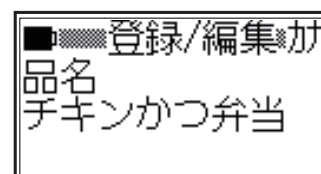
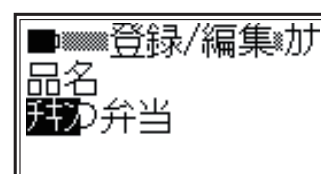
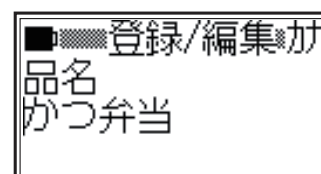
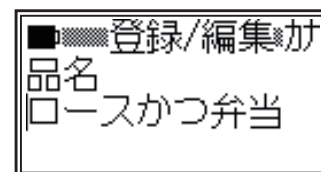
 キーを3回押し「ン」の半角文字を選択します。

「チン」を大文字に変換します。

 キーを押して「チ」が「チ」に変わりましたら、 キーを押して「チキン全体」を指定し、 キーを押すと「ちきん」に変わり、もう一度  キーを押すと「チキン」に変わります。

編集後、 キーを押します。

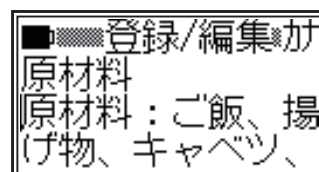
※以下、同様に編集し、編集後  キーを押します。



6 データ管理⇒プリセットについて (つづき)

④原材料を編集します。

編集後、 キーを押します。

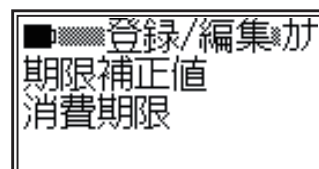


登録/編集
原材料
原材料：ご飯、揚げ物、キャベツ、



⑤期限補正値を編集します。

編集後、 キーを押します。

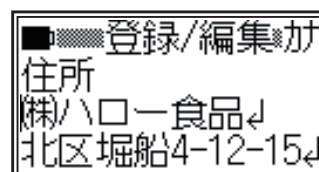


登録/編集
期限補正値
消費期限



⑥住所の編集をします。

編集後、 キーを押します。



登録/編集
住所
(株)ハロー食品↓
北区堀船4-12-15↓



⑦バーコードを編集します。

編集後、 キーを押します。



登録/編集
バーコード
[490123456789C]



⑧価格を編集します。

編集後、 キーを押します。



登録/編集
価格
[¥1200]



⑨リサイクルマークを矢印キーで選択します。

選択後、 キーを押します。



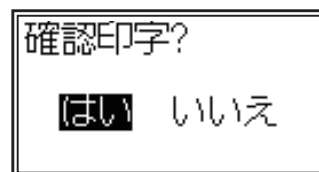
登録/編集
リサイクルマーク
プラ6mm

6 データ管理⇒プリセットについて (つづき)

⑩編集したプリセットデータのラベルを発行します。

「はい」を選択して  キーを押すと、ラベルを発行してデータの保存画面になります。

※「いいえ」を選択して  キーを押すと、ラベル発行をしないでデータの保存画面になります。



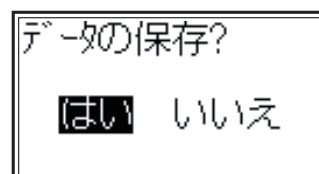
確認印字?
はい いいえ



⑪データの保存画面が表示されます。

「はい」を選択して  キーを押すと、編集データの保存方法指定画面になります。

※「いいえ」を選択して  キーを押すと、リサイクルマーク選択画面に戻ります。



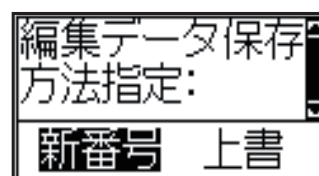
データの保存?
はい いいえ



⑫編集データの保存方法の指定画面が表示されます。

新番号を選択して  キーを押すと、新登録番号の設定画面になります。

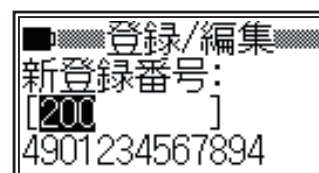
※上書を選択して  キーを押すと、元の登録番号に上書保存され保存確認画面になります。



編集データ保存方法指定:
新番号 上書



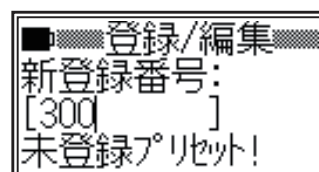
新登録番号の入力画面が表示されます。



登録/編集
新登録番号:
[200]
4901234567894



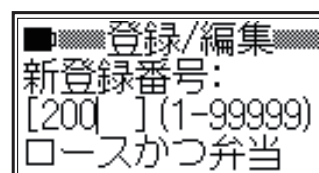
まだ使用していない登録番号を入力し  キーを押します。
たとえば、[300] と入力して  キーを押します。



登録/編集
新登録番号:
[300]
未登録プリセット!



※使用中の登録番号(たとえば、[200])を入力して  キーを押すと、入力されません。
使用されていない登録番号を再入力して下さい。

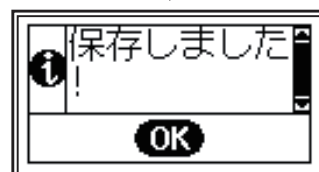


登録/編集
新登録番号:
[200] (1-99999)
コースかつ弁当



⑬保存確認画面が表示されます。

 キーを押すと呼出番号の入力画面に戻ります。

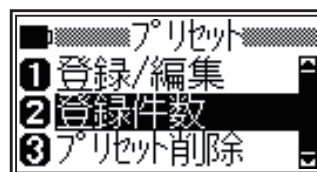


1 保存しました
OK

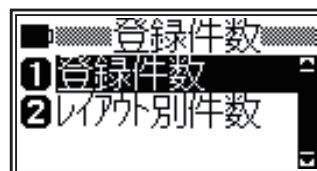
6-2-2 登録件数

■プリセットデータの登録件数およびレイアウトごとの登録件数を確認します。

①登録件数を矢印キーで選択し、キーを押します。



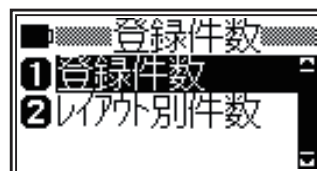
②登録件数に関する選択画面が表示されます。



(1) 登録件数

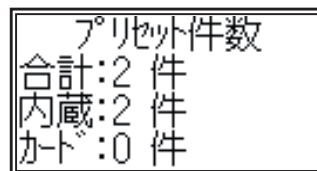
■プリセットデータの登録件数を確認します。

①登録件数を選択のまま キーを押します。



②プリセット件数が表示されます。

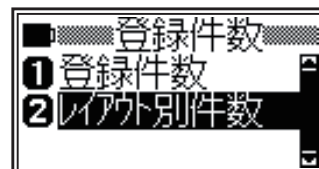
キーか キーを押すと、登録件数画面に戻ります。



(2) レイアウト別件数

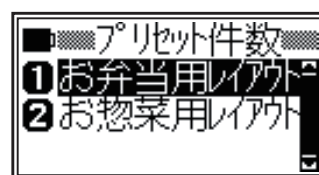
■レイアウト別のプリセットデータの登録件数を確認します。

- ①レイアウト別件数を矢印キーで選択し (E 発行) キーを押します。

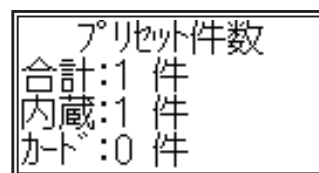


- ②レイアウト件数を表示します。

たとえば、サンプルデータのお弁当用レイアウトを選択して (E 発行) キーを押します。



- ③お弁当用レイアウトのプリセット件数が表示されます。

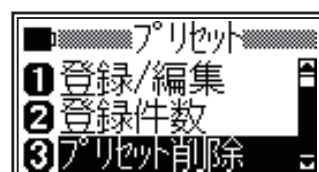


(P 初期) キーか (E 発行) キーを押すと、登録件数画面に戻ります。

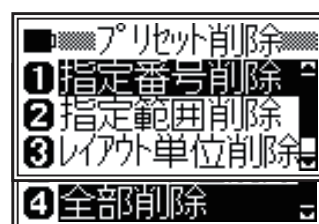
6-2-3 プリセット削除

■プリセットデータを指定番号・指定範囲・レイアウトごとに削除します。

- ①プリセット削除を矢印キーで選択し (E 発行) キーを押します。



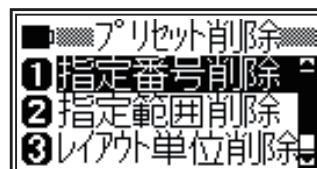
- ②プリセット削除に関する選択画面が表示されます。



(1) 指定番号削除

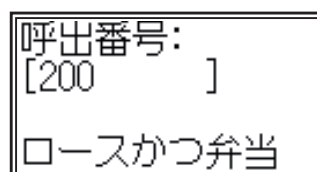
■呼出番号（プリセット番号）を指定して削除します。

①指定番号削除を選択のまま  キーを押します。



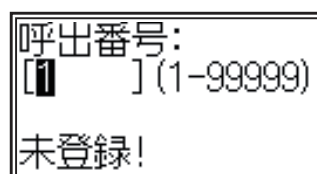
②呼出番号を入力して  キーを押します。

ここでは、[200] と入力しています。



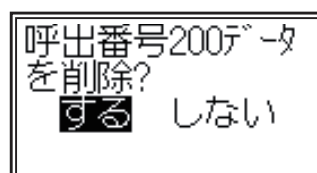
※登録されていないプリセット番号は、未登録と表示され削除できません。

登録されている番号（プリセット番号）を再入力して下さい。



③削除の確認画面が表示されます。

削除する場合は、「する」を選択して  キーを押します。

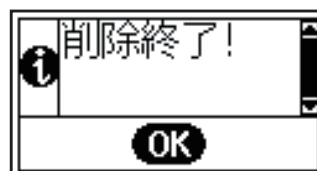


※削除しない場合は、「しない」の選択画面のまま  キーを押すと、指定番号削除画面に戻ります。



④削除終了画面が表示されます。

 キーを押すと、指定番号削除画面に戻ります。



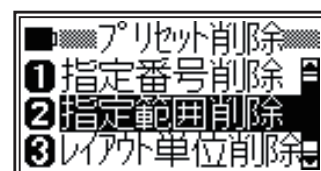
(2) 指定範囲削除

■呼出番号（プリセット番号）の範囲を指定して削除します。

※指定範囲内に登録された呼出番号（プリセットデータ）を削除します。

①プリセット削除画面から指定範囲削除を矢印キーで

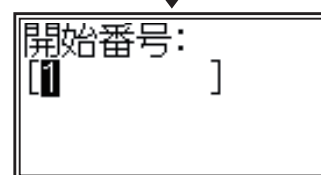
選択し、 キーを押します。



②開始番号を入力します。

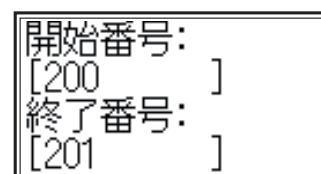
ここでは、サンプルラベルのプリセット番号 200 と入力し

て  キーを押します。



③終了番号を入力します。

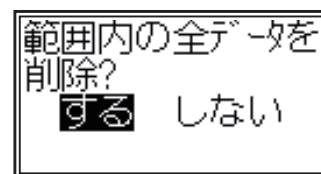
ここでは、プリセット番号 201 と入力し  キーを押します。



④全データを削除するかどうかを選択します。

削除する場合は、「する」を選択して  キーを押します。

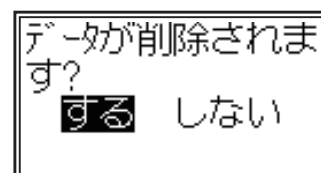
※削除しない場合は、「しない」の選択画面のまま  キーを押すと、指定範囲削除画面に戻ります。



確認画面が表示されます。

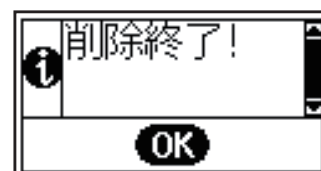
削除する場合は、「する」を選択して  キーを押します。

※削除しない場合は、「しない」の選択画面のまま  キーを押すと、指定範囲削除画面に戻ります。



⑤削除終了画面が表示されます。

 キーを押すと、指定範囲削除画面に戻ります。

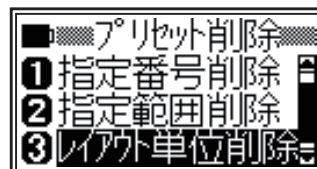


(3) レイアウト単位削除

■レイアウトごとと呼出番号を全部削除します。

※指定されたレイアウトで登録された呼出番号（プリセットデータ）を全て削除します。

- ①プリセット削除画面からレイアウト単位削除を矢印キーで選択し、キーを押します。



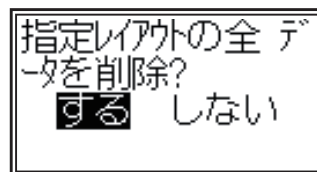
- ②削除するレイアウト選択画面が表示されます。

ここでは、お弁当用レイアウトを選択し  キーを押します。



- ③お弁当用レイアウトの全データの削除画面が表示されます。

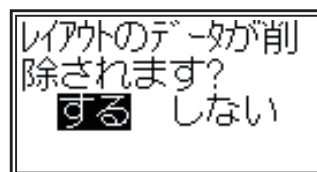
削除する場合は、「する」を選択して  キーを押します。



※削除しない場合は、「しない」の選択画面のまま  キーを押すと、プリセット削除画面に戻ります。

- ④削除の確認画面が表示されます。

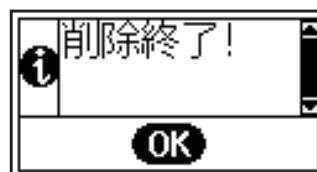
削除する場合は、「する」を選択して  キーを押します。



※削除しない場合は、「しない」の選択画面のまま  キーを押すと、プリセット削除画面に戻ります。

- ⑤削除終了画面が表示されます。

 キーを押すと、プリセット削除画面に戻ります。

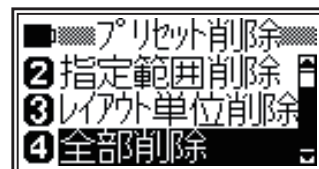


(4) 全部削除

■登録された呼出番号（プリセットデータ）を全て削除します。

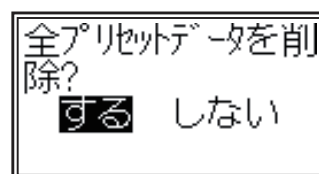
- ① プリセット削除画面から全部削除を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



- ② 全プリセットデータの削除画面が表示されます。

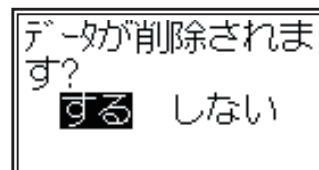
削除する場合は、「する」を選択して  キーを押します。
※削除しない場合は、「しない」の選択画面のまま  キーを押すと、プリセット削除画面に戻ります。



- ③ 削除の確認画面が表示されます。

削除する場合は、「する」を選択して  キーを押します。

※削除しない場合は、「しない」の選択画面のまま  キーを押すと、プリセット削除画面に戻ります。



- ④ 削除終了画面が表示されます。

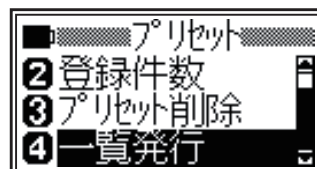
 キーを押すと、プリセット削除画面に戻ります。



6-2-4 一覧発行

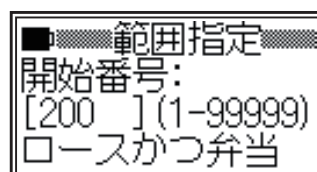
■全てのプリセットデータを1枚ずつラベル発行します。

①一覧発行を矢印キーで選択し、キーを押します。

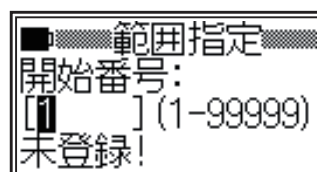


②プリセット番号の開始番号入力画面が表示されます。

ここでは、[200] と入力します。

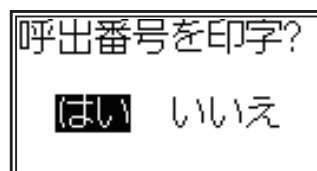


※ここでは、プリセット番号 [1] に登録されていないので、未登録と表示されます。



③呼出番号の印字画面が表示されます。

呼出番号をラベルに印字する場合は、「はい」の選択画面のまま  キーを押すと、印字中の画面が表示され呼出番号が印字されたラベルが一覧発行されます。



一覧発行が終了すると、範囲指定画面に戻ります。



※呼出番号をラベルに印字しない場合は、「いいえ」を選択して  キーを押すと、印字中の画面が表示され呼出番号が印字されないラベルが一覧発行されます。

一覧発行が終了すると、範囲指定画面に戻ります。

※この呼出番号の印字画面で  キーを押すと、範囲指定画面に戻ります。

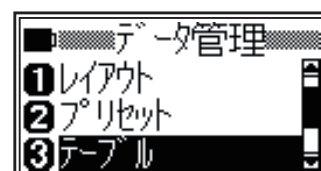
6-3 テーブル

■テーブルデータの追加・編集・削除をします。

※特に、プリセットデータの編集・削除する場合は、プリセットデータが変更または削除されますので、十分注意して操作を行ってください。

①データ管理画面からテーブルを矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②テーブルに関する選択画面が表示されます。



6-3-1 データ追加

■テーブルデータを追加・変更します。

①データ追加を選択のまま  キーを押します。



②コード表のテーブルデータの追加画面が表示されます。

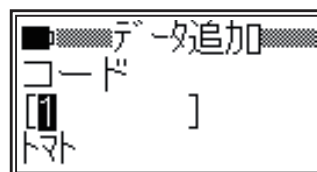


※テーブルデータの作成方法は、別冊の「neo-3 Label Partner」取扱説明書をお読み下さい。

※データ追加画面は、neo-3 Label Partner で作成されたテーブルデータによって、表示が異なります。

6 データ管理⇒テーブルについて (つづき)

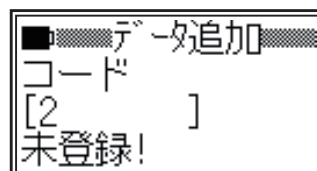
③コード番号入力画面が表示されます。



未登録のコード番号を入力します。

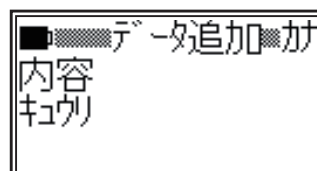
ここでは、[2] と入力し、 キーを押します。

※入力したコード番号 [2] が未登録の場合は、この未登録画面が表示されます。



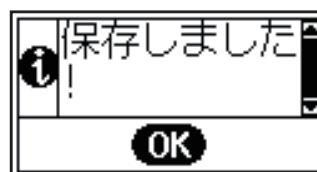
④コード番号 [2] の内容画面が表示されます。

ここでは、[キュリ] と入力し、 キーを押します。



⑤コード番号 [2] に [キュリ] が保存されました。

 キーを押すと、データ追加画面に戻ります。



※他のテーブルデータも同じようにデータの追加を行うことができます。

※テーブルデータは、neo-3 Label Partner によって作成します。

6-3-2 データ編集

■登録されているテーブルデータを編集します。

- ①テーブル画面からデータ編集を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



- ②コード表のテーブルデータの追加画面が表示されます。

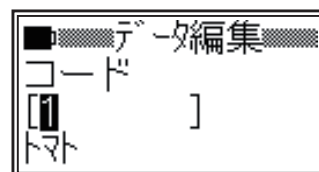


※データ編集画面は、neo-3 Label Partner で作成された
テーブルデータによって、表示が異なります。

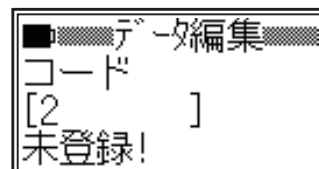
- ③コード番号入力画面が表示されます。

ここでは、コード番号 [1] に [トマト] が登録されています
ので、[トマト] を [キュウリ] に変更します。

 キーを押します。

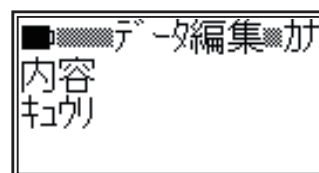


※未登録コード番号が入力された場合は、この未登録画面が
表示されます。



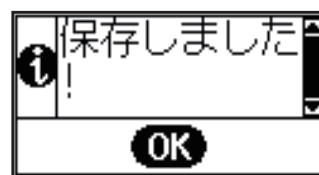
- ④内容の入力画面が表示されますので、[キュウリ] と入力し、

 キーを押します。



- ⑤コード番号 [1] の [トマト] が [キュウリ] に変更されました。

 キーを押すと、データ編集画面に戻ります。



※他のテーブルデータも同じようにデータの編集を行うこと
ができます。

※テーブルデータは、neo-3 Label Partner によって作成
します。

6-3-3 データ削除

■登録されているテーブルデータを削除します。

①テーブル画面からデータ削除を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②コード表のテーブルデータの削除画面が表示されます。

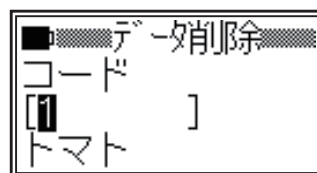
 キーを押します。



※データ削除画面は、neo-3 Label Partner で作成された
テーブルデータによって、表示が異なります。

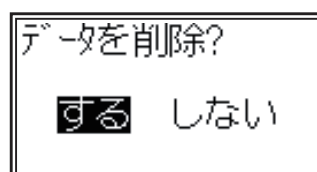
③コード番号削除画面が表示されます。

 キーを押します。



④データ削除画面が表示されます。

データを削除する場合は、「する」を選択して  キーを押します。



※データを削除しない場合は、「しない」を選択して

 キーを押すとデータ削除画面に戻ります。

⑤削除終了画面が表示されます。

 キーを押すと、データ削除画面に戻ります。



※他のテーブルデータも同じようにデータの削除を行うことができます。

※テーブルデータは、neo-3 Label Partner によって作成
します。

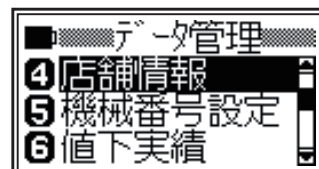
6-4 店舗情報

■店舗番号の設定と店舗情報を確認します。

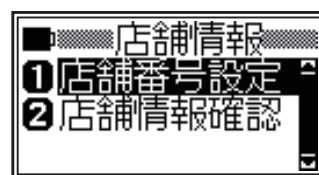
①データ管理画面から店舗情報を矢印キーで選択し、



キーを押します。



②店舗情報に関する選択画面を表示します。



6-4-1 店舗番号設定

■店舗番号を設定します。

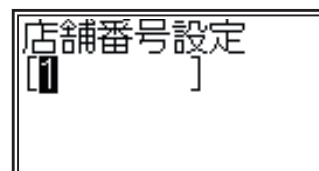
※店舗情報を使用する場合は、この店舗番号の設定が必須となります。

neo-3 Label Partner と通信する前に行ってください。

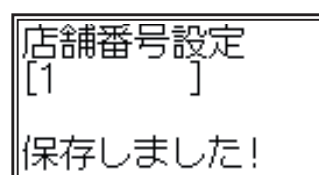
①店舗番号設定が選択されたまま  キーを押します。



②店舗番号を入力し  キーを押します。



③店舗番号番号を入力して  キーを押すと保存され、店舗情報画面に戻ります。

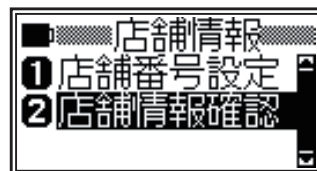


6-4-2 店舗情報確認

■店舗情報を確認します。

- ①店舗情報画面から店舗情報確認を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



- ②店舗情報確認に関する選択画面が表示されます。

※店舗情報画面は、neo-3 Label Partner で作成された
店舗情報テーブルによって、表示が異なります。



(1) 店番

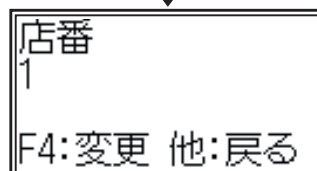
■店番を確認します。

- ①店番を選択のまま  キーを押します。



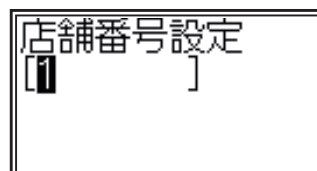
- ②設定されている店番を表示します。

 以外のキーを押すと、店舗情報画面に戻ります。

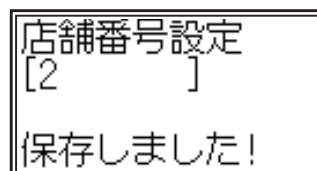


補足

- 店番の項目②の店番表示画面で  キーを押すと、
店番を変更することができます。



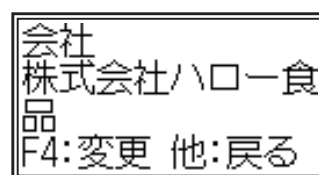
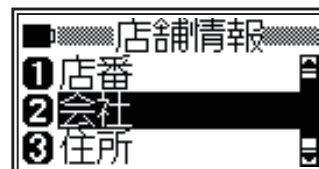
たとえば、[2] を入力し  キーを押すと保存され、店番
画面に戻ります。



(2) 会社

■会社名を確認します。

- ①矢印キーで会社を選択し、 キーを押します。



- ②会社名を表示します。

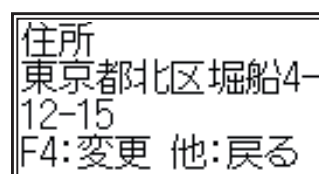
 以外のキーを押すと、店舗情報画面に戻ります。

※変更する場合は、 キーを押すと店番と同じ手順で変更することができます。

(3) 住所

■住所を確認します。

- ①店舗情報画面から矢印キーで住所を選択し、 キーを押します。



- ②設定されている住所を表示します。

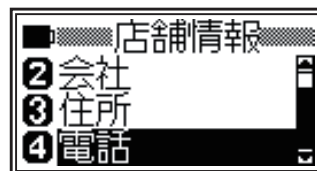
 以外のキーを押すと、店舗情報画面に戻ります。

※変更する場合は、 キーを押すと店番と同じ手順で変更することができます。

(4) 電話

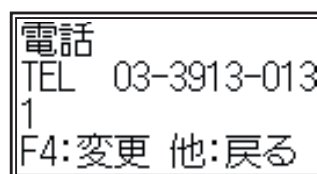
■電話番号を確認します。

- ①店舗情報画面から矢印キーで電話を選択し、 キーを押します。



- ②設定されている電話番号を表示します。

 以外のキーを押すと、店舗情報画面に戻ります。



※変更する場合は、 キーを押すと店番と同じ手順で変更することができます。

※店舗情報画面は、neo-3 Label Partner で作成された店舗情報テーブルによって、表示が異なります。

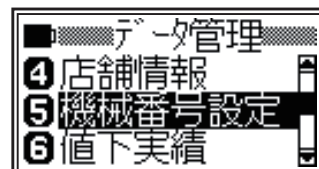
6-5 機械番号設定

■機械番号を設定します。

- ①データ管理画面から機械番号設定を矢印キーで選択し、



キーを押します。

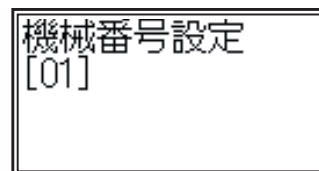


- ②機械番号を数字キーで2桁以内で入力します。

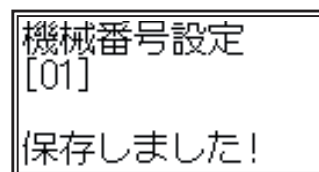
たとえば、[01] と入力し、



キーを押します。



保存され、データ管理画面に戻ります。



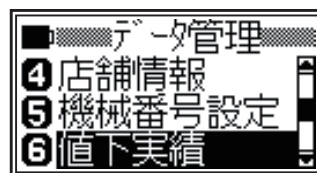
6-6 値下実績

■値下履歴を F T P サーバ・neo-3 ラベルパートナーに転送または C F カードに保存します。

※値下履歴は、「設定」⇒「値下設定」⇒「値下集計」の値下履歴保存が「する」に設定されている場合に有効となります。

①データ管理画面から値下履歴を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②値下履歴に関する選択画面を表示します。



6-6-1 FTPサーバに転送

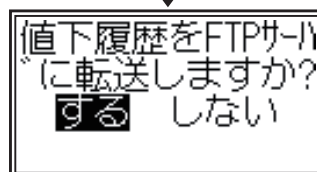
■値下履歴を F T P サーバに転送します。

① F T P サーバに転送が選択されたまま  キーを押します。



②選択画面が表示されます。

値下履歴データを F T P サーバに転送する場合は、矢印キーで「する」を選択し、 キーを押します。

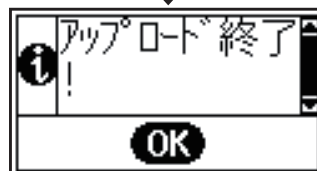


※「しない」に選択のまま  キーを押すと値下履歴画面に戻ります。

③値下履歴データを F T P サーバに転送します。



④値下履歴データ（日付＋店舗番号（設定する場合） c s v ファイル）の転送が終了しました。

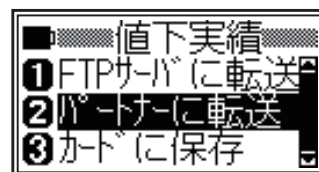


6-6-2 パートナーに転送

■値下履歴を neo-3 ラベルパートナーに転送します。

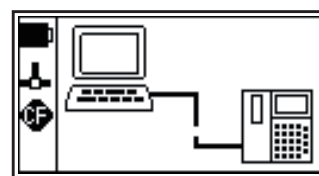
- ①値下履歴からパートナーに転送を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



- ②値下履歴データをパートナーに転送します。

※転送方法は、付属のCD「neo-3 Label Partner 取扱説明書」をお読み下さい。



6-6-3 カードに保存

■値下履歴データをCFカードに保存します。

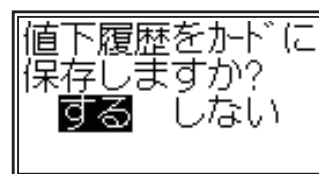
- ①値下履歴からCFカードに保存を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



- ②選択画面が表示されます。

値下履歴データをCFカードに保存する場合は、矢印キーで「する」を選択し、 キーを押します。

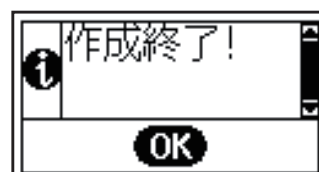


※「しない」に選択のまま  キーを押すと値下履歴画面に戻ります。



- ③値下履歴データ（日付＋店舗番号（設定する場合）csvファイル）が保存されました。

 キーを押すと、値下履歴画面に戻ります。



6-7 発行履歴送信

■ F T P サーバーに発行履歴情報を送信します。

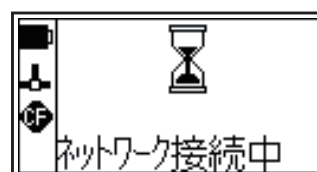
①データ管理から発行履歴送信を矢印キーで選択し、



キーを押します。



②発行履歴情報を F T P サーバーに送信します。



正常に送信されると、右のような画面が表示されますので、



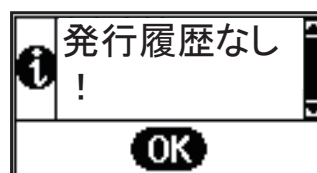
キーを押すとデータ管理画面に戻ります。



※発行履歴情報の保存場所が C F カードに設定されている場合は、右図のような画面が表示されます。



キーを押すと、データ管理画面に戻ります。



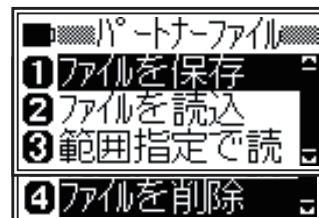
6-8 パートナーファイル

- ファイル名を付けてC Fカードに保存、C Fカードから読込または範囲指定をしてC Fカードから読み込みます。

- ①データ管理からパートナーファイルを矢印キーで選択し、
(E 発行) キーを押します。



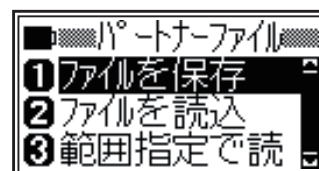
- ②パートナーファイルに関する選択画面が表示されます。



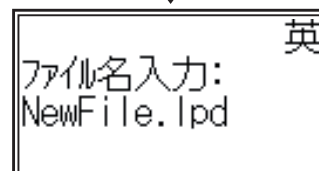
6-8-1 ファイルを保存

- ファイル名を付けてC Fカードに保存します。

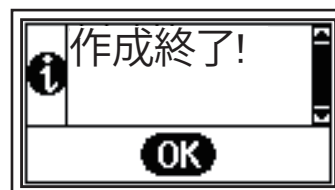
- ①ファイルを保存を選択のまま (E 発行) キーを押します。



- ②ファイル名を入力して (E 発行) キーを押します。



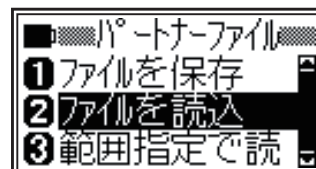
- ③ファイル名でC Fカードに保存されました。
(E 発行) キーを押すとパートナーファイル画面に戻ります。



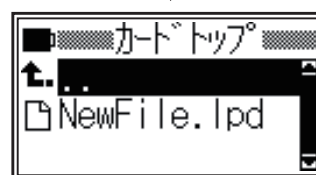
6-8-2 ファイルを読み込

■CFカードからファイルを本体に読み込みます。

- ①パートナーファイルからファイルを読み込を矢印キーで選択し、 キーを押します。

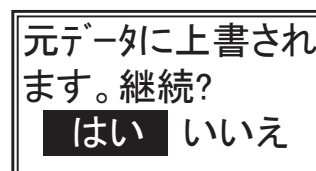


- ②読み込むファイルを矢印キーで選択し、 キーを押します。



- ③元データに上書きするかどうかの画面が表示されます。

元データに上書きする場合は、「はい」を選択し、 キーを押します。

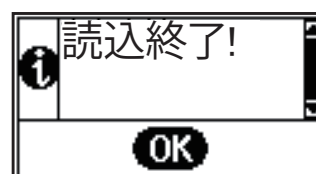


※上書しない場合は、「いいえ」を選択のまま  キーを押すと、パートナーファイル画面に戻ります。



- ④読み込みが終了しました。

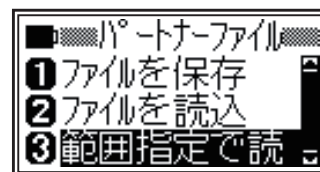
 キーを押すとパートナーファイル画面に戻ります。



6-8-3 範囲指定で読込

■ C F カードから範囲を指定してファイルを本体に読み込みます。

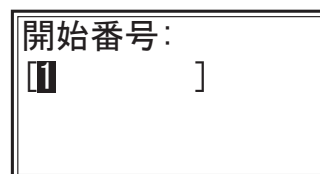
- ① パートナーファイルから範囲指定で読込を矢印キーで選択し、 キーを押します。



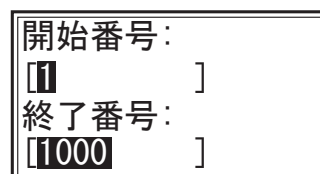
- ② 読み込むファイルを矢印キーで選択し、 キーを押します。



- ③ 開始番号を入力し、 キーを押します。

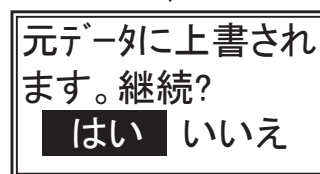


- ④ 終了番号を入力し、 キーを押します。



- ⑤ 元データに上書きするかどうかの画面が表示されます。

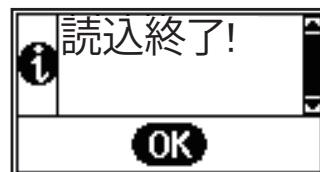
上書する場合は、「はい」を選択し、 キーを押します。



※上書しない場合は、「いいえ」を選択のまま  キーを押すと、パートナーファイル画面に戻ります。

- ⑥ 読込が終了しました。

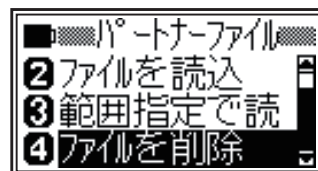
 キーを押すとパートナーファイル画面に戻ります。



6-8-4 ファイルを削除

■ C F カードに保存されたファイルを削除します。

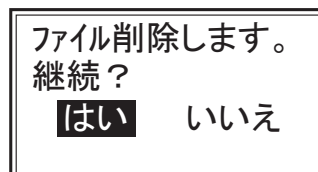
- ① パートナーファイルからファイルを削除を矢印キーで
選択し、 キーを押します。



- ② 削除したいファイル名を矢印キーで選択して、
 キーを押します。



- ③ 削除する場合は、「はい」を矢印キーで選択して、
 キーを押します。



- ※削除しない場合は、「いいえ」を選択のまま
 キーを押すとパートナーファイル画面に戻ります。

- ④ 削除画面が表示されます。

 キーを押すと、パートナーファイル画面に戻ります。



6-9 バックアップ&復元

- 本体にC Fカードをセットしてから行います。
- 本体内の全データをC Fカードにバックアップします。
- バックアップしたデータに本体を復元します。

①データ管理からバックアップ&復元を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②バックアップ&復元に関する選択画面が表示されます。



6-9-1 バックアップ

- 本体の全てのデータをC Fカードにバックアップします。

①バックアップを選択のまま  キーを押します。



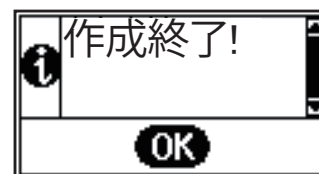
②ファイル名を入力して  キーを押します。

※ファイル名が同じ場合は、上書するかどうかの画面が表示されます。



③バックアップデータが作成されました。

 キーを押すとバックアップ&復元画面に戻ります。

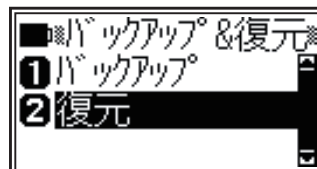


6-9-2 復元

■本体をバックアップしたデータに復元します。

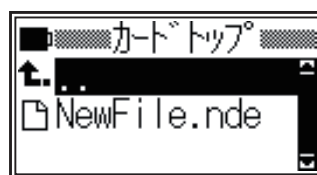
- ①バックアップ&復元から復元を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



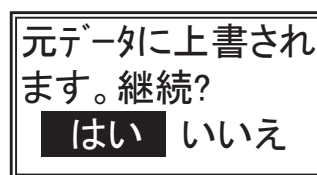
- ②ファイル名を矢印キーで選択して  キーを押します。

※バックアップファイルが複数の場合は、ファイル名が表示されます。



- ③上書画面が表示されます。

上書をする場合は、「はい」を選択し、 キーを押します。

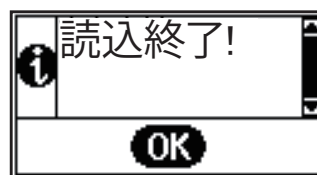


※上書しない場合は、「いいえ」を選択し、 キーを押すとバックアップ&復元画面に戻ります。



- ④復元されました。

 キーを押すと復元画面に戻ります。



6-10 レイアウト共通設定

■総額端数処理・和暦元年・和暦年号の設定をします。

※ neo-3 Label Partner でデータ作成時に「レイアウト」⇒「全レイアウトの共通設定」の「本体に設定を変更することを許可する」にチェックを入れた場合に有効となります。

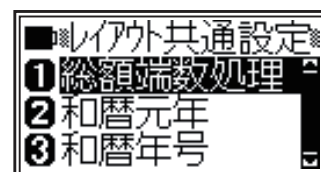
さらに、「共通総額端数処理」にチェックを入れた場合に総額端数処理が有効となります。

①データ管理からレイアウト共通設定を矢印キーで選択し

 キーを押します。



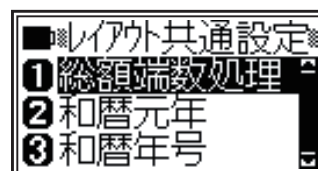
②レイアウト共通設定に関する選択画面が表示されます。



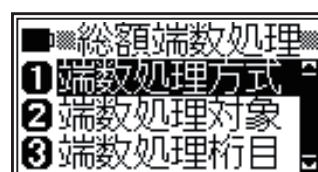
6-10-1 総額端数処理

■端数処理の方式・対象・桁目の設定をします。

- ①レイアウト共通設定から総額端数処理を矢印キーで
選択し、 キーを押します。



- ②選択画面が表示されます。



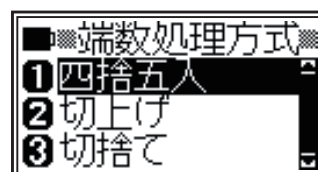
(1) 端数処理方式

■端数処理の方式を設定します。

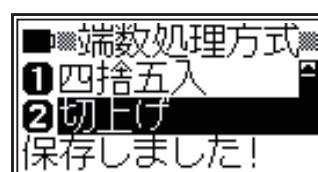
- ①端数処理方式を選択のまま  キーを押します。



- ②選択画面が表示されます。



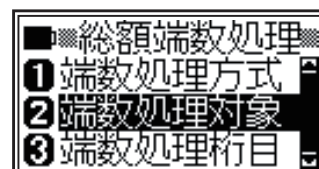
- ③たとえば、「切り上げ」を選択して  キーを押すと、
保存され総額端数処理画面に戻ります。



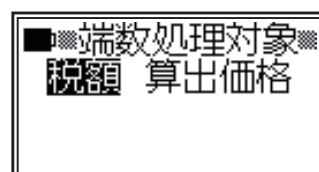
(2) 端数処理対象

■端数処理の対象を設定します。

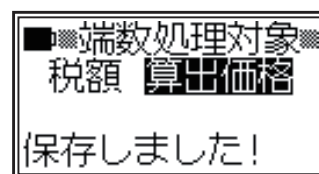
①総額端数処理を矢印キーで選択し、 キーを押します。



②選択画面が表示されます。



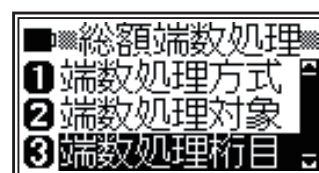
③たとえば、「算出価格」を選択して  キーを押すと、保存され総額端数処理画面に戻ります。



(3) 端数処理桁目

■端数処理の桁目を設定します。

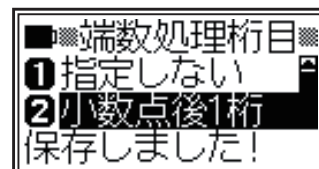
①総額端数処理を矢印キーで選択し、 キーを押します。



②選択画面が表示されます。



③たとえば、「小数点後1桁」を選択して  キーを押すと、保存され総額端数処理画面に戻ります。

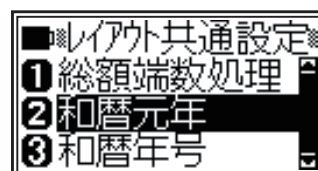


6-10-2 和暦元年

■和暦元年の設定をします。

①レイアウト共通設定から和暦元年を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②入力画面が表示されます。

たとえば、元号が替わった時に、新しい元号の西暦を入力して  キーを押します。



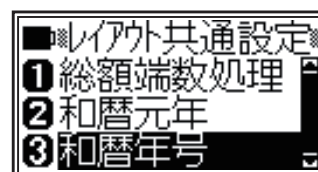
保存され、レイアウト共通設定画面に戻ります。

6-10-3 和暦年号

■元号が替わった時に、新しい元号の設定をします。

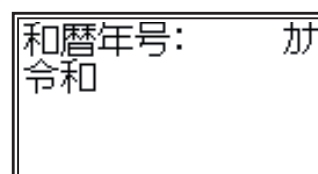
①レイアウト共通設定から和暦年号を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②入力画面が表示されます。

たとえば、元号が替わった時に、新しい元号を入力して  キーを押します。



保存され、レイアウト共通設定画面に戻ります。

6-11 CFカード初期化

■C Fカードを初期化します。

- ①データ管理からC Fカード初期化を矢印キーで選択し、



キーを押します。

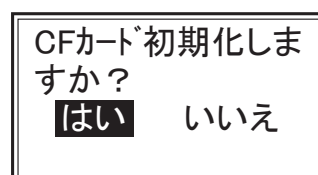


- ②初期化画面が表示されます。

C Fカードを初期化する場合は、「はい」を選択し、



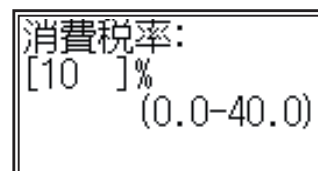
キーを押します。



※C Fカードを初期化しない場合は、「いいえ」のまま



キーを押すとデータ管理画面に戻ります。

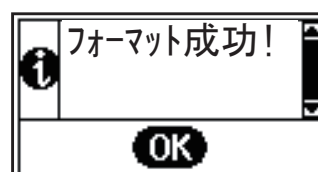


- ③初期化中の画面が表示されます。

- ④正常に初期化されると、右のような画面が表示します。



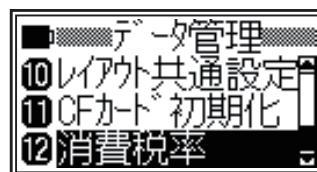
キーを押すとデータ管理画面に戻ります。



6-12 消費税率

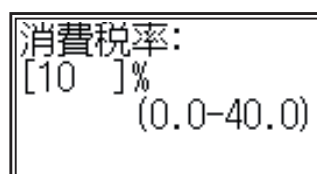
■消費税率の設定をします。

- ①データ管理から消費税を矢印キーで選択し、キーを押します。



- ②入力画面が表示されます。

たとえば、[10] と入力して  キーを押します。



- ※  キーを押すごとに、[1.0]% ごと減算されます。
- ※  キーを押すごとに、[1.0]% ごと加算されます。

保存され、レイアウト共通設定画面に戻ります。

注意

※ラベルパートナーから印字データ（プリセットデータ）を本体にダウンロードすると、ラベルパートナーで設定した消費税率を（本体に設定を変更することを許可する／しないに関係なく）本体の消費税率に上書きされますので、十分ご注意ください。

6-13 軽減税率設定

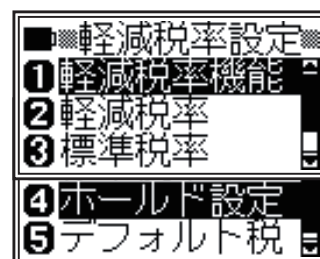
■軽減税率の設定をします。

■ラベルパートナーで軽減税率が設定されている場合は、本体の設定より優先されます。

- ①データ管理から軽減税率を矢印キーで選択し、 キーを押します。



- ②軽減税率設定に関する選択画面が表示されます。



6-13-1 軽減税率機能

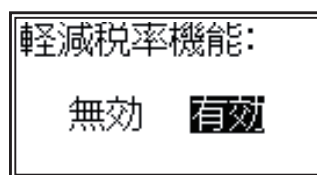
■ラベルパートナーで軽減税率が設定されていない場合に、本体で軽減税率機能を有効にするかの設定をすることができます。

①軽減税率機能を選択のまま  キーを押します。



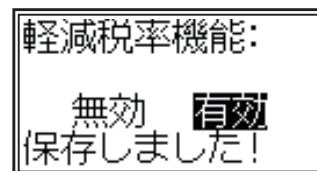
②軽減税率機能の選択画面が表示されます。

軽減税率機能を有効にする場合は、「有効」を選択し、 キーを押します。



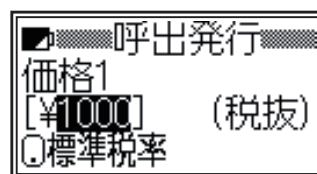
※無効にする場合は、「無効」を選択のまま  キーを押すと軽減税率設定画面に戻ります。

③有効に保存され、軽減税率設定画面に戻ります。



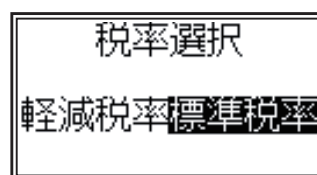
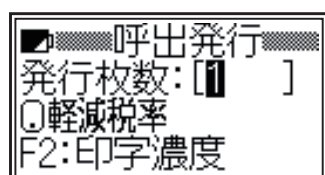
補足

●ラベルパートナー（価格項目のプロパティで強制一時変更を選択しているとき）で軽減税率を設定している場合や本体の軽減税率機能を有効にした場合、価格入力画面で  キーを押すと、税率を変更することができます。



※発行枚数入力画面でも同様に税率を変更することができます。

※値下げ発行では、バーコードスキャン画面と発行枚数入力画面のみ税率を変更することができます。



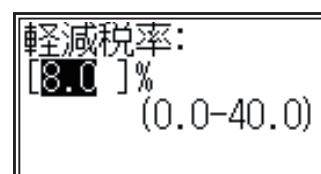
6-13-2 軽減税率

■軽減税率を設定します。

- ①軽減税率設定画面から軽減税率を矢印で選択し、キーを押します。



- ②軽減税率設定画面が表示されます。



※軽減税率を変更する場合は、数字キーを使って入力します。

ここでは、「8.0」%のままキーを押します。
すると、軽減税率設定画面に戻ります。

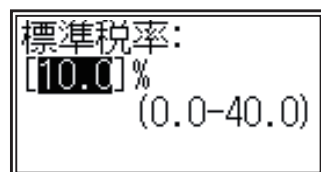
6-13-3 標準税率

■標準税率を設定します。

- ①軽減税率設定画面から標準税率を矢印で選択し、キーを押します。



- ②標準税率設定画面が表示されます。



※標準税率を変更する場合は、数字キーを使って入力します。

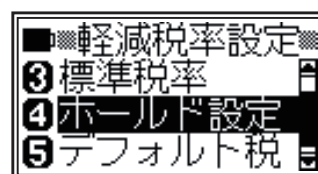
ここでは、「10.0」%のままキーを押します。
すると、軽減税率設定画面に戻ります。

6-13-4 ホールド設定

■変更した税率をホールドするかの設定をします。

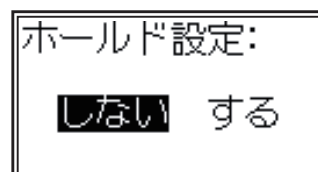
■ホールド設定は、呼出番号で呼び出されたプリントデータにのみ適用されます。
全レイアウトのプリセットデータには適用されません。

- ①軽減税率設定画面からホールド設定を矢印で選択し、キーを押します。



- ②ホールド設定画面が表示されます。

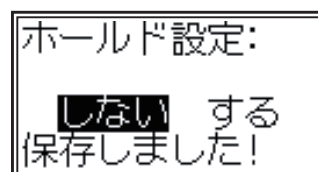
ホールド設定をしない場合は、「しない」を選択して
キーを押します。



※ホールド設定をする場合は、「する」を選択のまま
キーを押すと、軽減税率設定画面に戻ります。



- ③しないに保存され、軽減税率設定画面に戻ります。



6-13-5 デフォルト税率

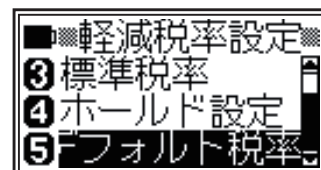
■税率の初期値を設定します。

■デフォルト税率は、ラベルパートナーで税率項目がレイアウトされていない場合であって、本体の軽減税率機能が有効になっている場合に適用されます。

- ①軽減税率設定画面からデフォルト税率を矢印で選択し、



キーを押します。

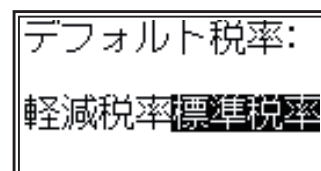


- ②デフォルト税率画面が表示されます。

標準税率に変更する場合は、「標準税率」を選択して

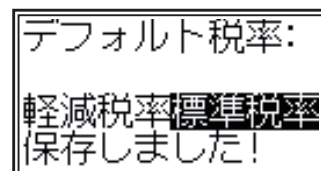


キーを押します。



- ※軽減税率にする場合は、「軽減税率」を選択のまま  キーを押すと、軽減税率設定画面に戻ります。

- ③標準税率に保存され、軽減税率設定画面に戻ります。



7 設定について

- 本体機能の設定・値下の設定・操作設定・ネットワークなどの設定をします。

- ①初期画面で「設定」を矢印キーで選択し、 キーを押します。

※ここでは、初期画面がアイコン表示に設定されています。



初期画面

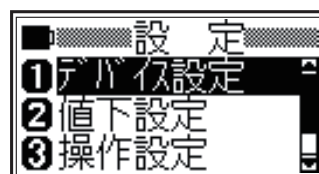
- ②設定に関する選択画面が表示されます。



7-1 デバイス設定

- 本体の基本的な機能の設定をします。

- ①デバイス設定が選択されたまま  キーを押します。



- ②デバイス設定に関する選択画面が表示されます。



7-1- 1 内蔵時計設定

■内蔵時計を現在時刻に合わせます。

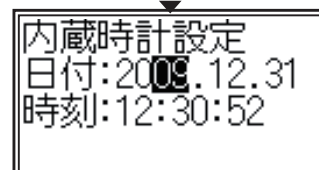
①内蔵時計が選択されたまま (E 発行) キーを押します。



②西暦の下2桁を入力します。

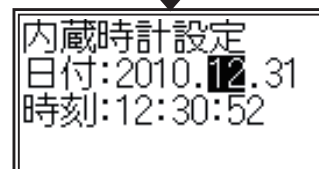
たとえば、反転箇所に入力します。

※各項目の2桁入力後は、(E 発行) キーは不要です。



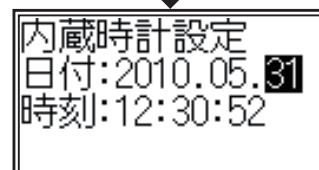
③2桁で月を入力します。

たとえば、反転箇所に入力します。



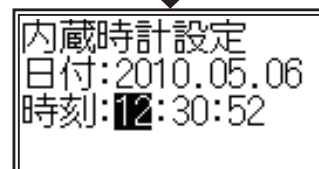
④2桁で日を入力します。

たとえば、反転箇所に入力します。



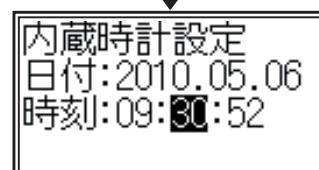
⑤2桁で時間を入力します。

たとえば、反転箇所に入力します。



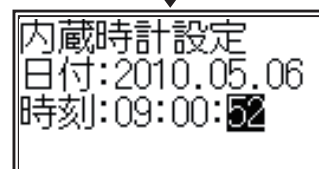
⑥2桁で分を入力します。

たとえば、反転箇所に入力します。



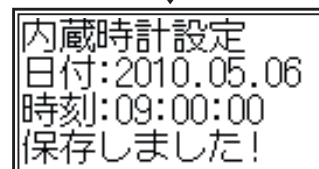
⑦2桁で秒を入力します。

たとえば、反転箇所に入力します。



⑧内蔵時計が保存されました。

保存後、デバイス設定画面に戻ります。



補足

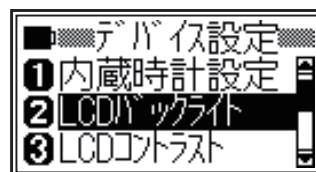
- 現在時刻よりも約「1分00秒」進めておいて、現在時刻がその時刻になるのに合わせて (E 発行) キーを押すと正確な時刻合わせができます。
- 変更途中で (P 初期) キーを押した時は、キャンセル扱いとなり変更されません。

7-1-2 LCDバックライト

■LCDのバックライトを使用するかどうかを設定します。

- ①デバイス設定からLCDバックライトを選択し、

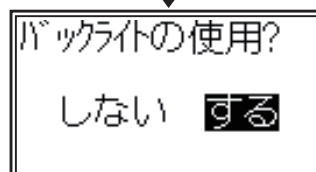
(E 発行) キーを押します。



- ②使用の選択画面が表示されます。

「する」を選択のまま (E 発行) キーを押すとバックライトが設定され、自動OFF画面が表示されます。

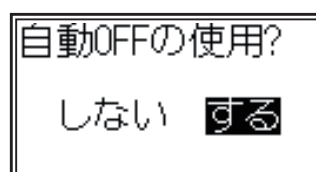
※「しない」を選択して (E 発行) キーを押すとバックライトを使用しないに設定され、デバイス設定画面に戻ります。



- ③自動パワーOFFの選択画面が表示されます。

「する」を選択して (E 発行) キーを押すと、LCD自動OFFの時間設定画面が表示されます。

※「しない」を選択して (E 発行) キーを押すと「保存しました!」と表示されてデバイス設定画面に戻ります。

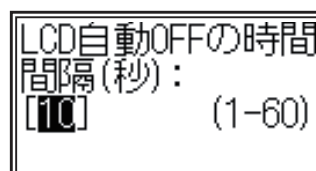


- ④時間間隔の入力画面が表示されます。

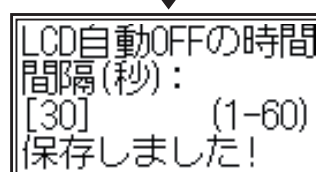
たとえば、[30] と入力し (E 発行) キーを押します。

※ (↑) キーを押すごとに、[1] 分ごとと減算されます。

※ (↓) キーを押すごとに、[1] 分ごとと加算されます。



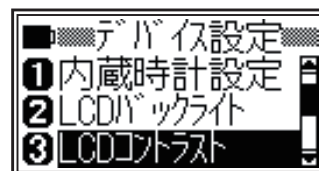
- ⑤保存され、デバイス設定画面に戻ります。



7-1- 3 LCDコントラスト

■LCDのコントラストを設定します。

- ①デバイス設定からLCDコントラスト選択し、 キーを押します。

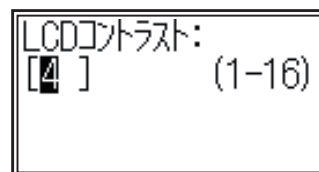


- ②入力画面が表示されます。

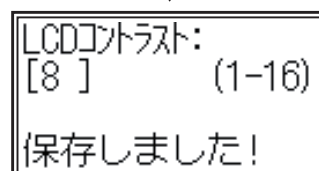
たとえば、[8] と入力し  キーを押します。

※  キーを押すごとに、[1] ごと減算されます。

※  キーを押すごとに、[1] ごと加算されます。



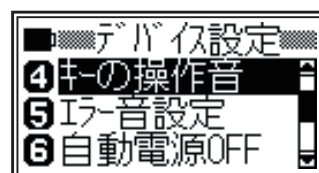
- ③保存され、デバイス設定画面に戻ります。



7-1- 4 キーの操作音

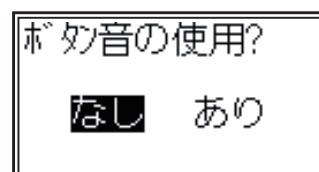
■キーを押した時に、ボタン音を鳴らすかどうかを設定します。

- ①デバイス設定から矢印キーでキーの操作音を選択し、 キーを押します。



- ②選択画面が表示されます。

ボタン音を使用しない場合は、矢印キーで「なし」を選択し、 キーを押します。

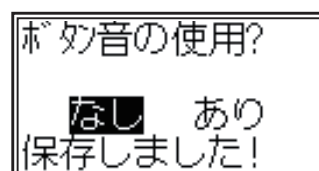


※ボタン音を使用する場合は、「あり」を選択のまま

 キーを押すと、デバイス設定画面に戻ります。



- ③保存され、デバイス画面に戻ります。

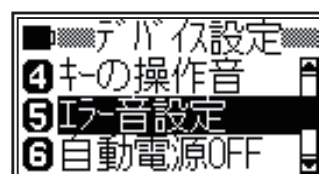


7-1- 5 エラー音設定

■エラーが発生した時や設定できない数値を入力した時に、警告音を鳴らすかどうかの設定します。

①デバイス設定からエラー音設定を矢印キーで選択し、

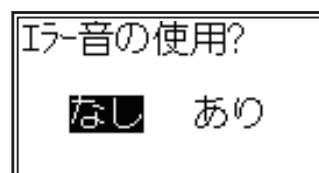
 キーを押します。



②選択画面が表示されます。

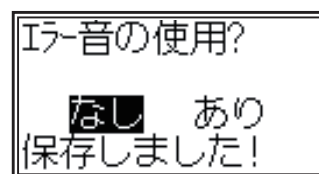
エラー音を使用しない場合は、矢印キーで「なし」を選択

し  キーを押します。



※エラー音を使用する場合は、「あり」を選択のまま  キーを押すと、エラー音設定画面に戻ります。

③保存され、デバイス設定画面に戻ります。

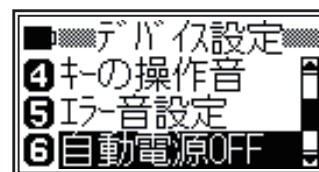


7-1-6 自動電源OFF

■電源を一定時間後にOFFにするかどうかの設定をします。

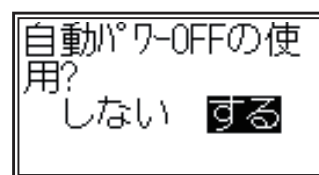
- ①デバイス設定から自動電源OFFを矢印キーで選択し、

キーを押します。



- ②選択画面が表示されます。

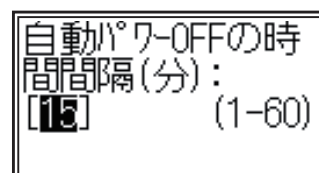
自動パワーOFFの使用をする場合は、矢印キーで「する」を選択し キーを押します。



※自動パワーOFFを使用しない場合は、「しない」を選択のまま キーを押すと、デバイス設定画面に戻ります。

- ③時間間隔の入力画面が表示されます。

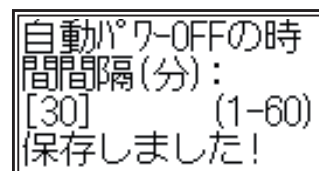
たとえば、[30] と入力し キーを押します。



※ キーを押すごとに、[1] 分ごと減算されます。

※ キーを押すごとに、[1] 分ごと加算されます。

- ④保存され、デバイス設定画面に戻ります。

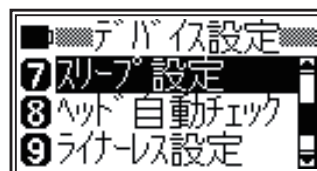


7-1- 7 スリープ設定

■一定時間使用しない場合、省電力モードにするかどうかの設定をします。

①デバイス設定からスリープ設定を矢印キーで選択し、

 キーを押します。

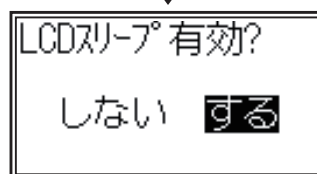


②選択画面が表示されます。

LCDスリープを有効に場合は、「する」の選択のまま

 キーを押します。

※「する」・「しない」の設定を変更したときには、「保存しました」と表示され保存後、次項のスリープ間隔時間設定画面になります。

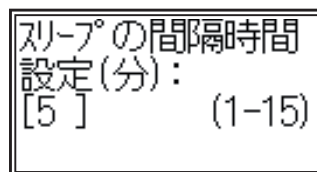


③間隔時間の入力画面が表示されます。

たとえば、[5] と入力し  キーを押します。

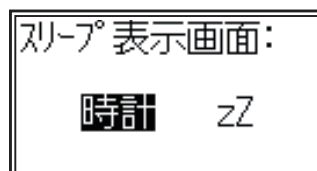
※  キーを押すごとに、[1] 分ごと減算されます。

※  キーを押すごとに、[1] 分ごと加算されます。

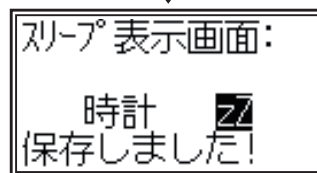


④スリープ表示画面になります。

たとえば、矢印キーで「z Z」を選択し  キーを押します。

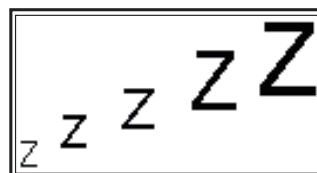


⑤保存され、デバイス設定画面に戻ります。

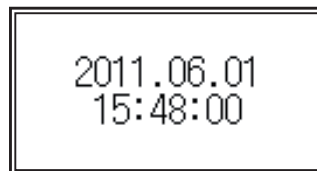


※表示画面を変更した時のみ「保存しました」と表示されます。

たとえば、「z Z」を選択して保存した場合は、LCD画面が右図のように表示します。



※表示画面を「時計」を選択して保存した場合は、LCD画面が右図のように表示します。

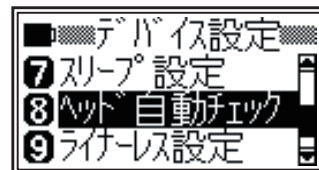


7-1- 8 ヘッド自動チェック

■サーマルヘッドの機能を自動で検知するかどうかの設定をします。

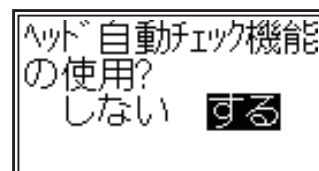
※正確なデータを印字するためにもヘッド自動チェック機能は、「する」に設定して下さい。

- ①デバイス設定からヘッド自動チェックを矢印キーで選択し、キーを押します。



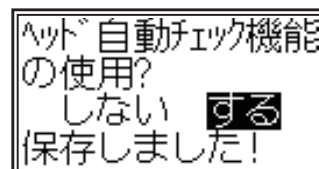
- ②選択画面が表示されます。

ヘッド自動チェック機能を使用する場合は、矢印キーで「する」を選択し、キーを押します。



※ヘッド自動チェック機能を使用しない場合は、「しない」を選択のまま キーを押すと、デバイス設定画面に戻ります。

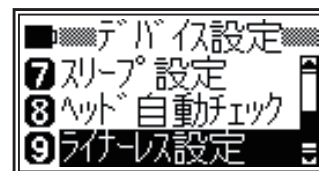
- ③保存され、デバイス設定画面に戻ります。



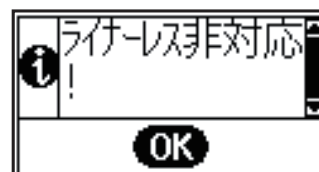
7-1- 9 ライナーレス設定

■ライナーレスラベルを発行する時に設定します。(オプション)

- ①デバイス設定からライナーレス設定を矢印キーで選択し、キーを押します。



- ②本装置は、ライナーレス仕様になっていません。



7-1-10 メインメニュー表示

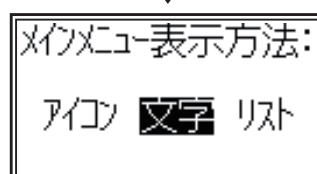
■メインメニューの表示方法を設定します。

- ①デバイス設定からメインメニュー表示を矢印キーで選択し、 キーを押します。



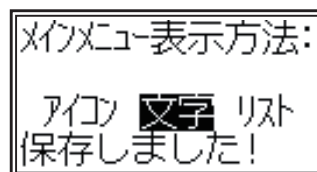
- ②選択画面が表示されます。

メインメニューの表示を文字に変更する場合は、矢印キーで「文字」を選択し、 キーを押します。



※メインメニューの表示が「アイコン」のまま  キーを押すと、メインメニュー表示画面に戻ります。

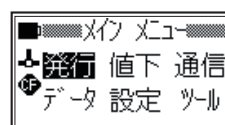
- ③保存され、デバイス設定画面に戻ります。



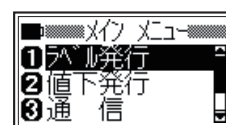
メイン メニュー表示



アイコン表示



文字表示



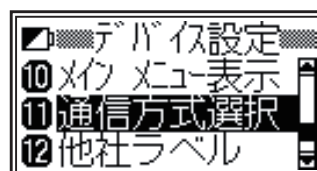
リスト表示

※値下発行は、値下レイアウトが作成されている場合にのみ表示されます。

7-1-11 通信方式選択

■本体との通信方式を選択します。

- ①デバイス設定から通信方式選択を矢印キーで選択し、 キーを押します。



- ②通信方式選択画面が表示されます。

ここでは、USBに設定されています。

※たとえば、FTP方式に変更する場合は、矢印キーで「FTP」を選択し、 キーを押します。
保存画面が表示され、デバイス設定画面に戻ります。



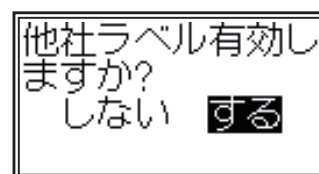
7-1-12 他社ラベル

■他社ラベルを有効にするかの設定をします。

- ①デバイス設定から他社ラベルを矢印キーで選択し、キーを押します。

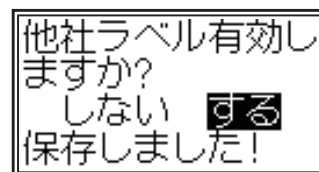


- ②選択画面が表示されます。
有効にする場合は、矢印キーで「する」を選択し、キーを押します。



※他社ラベルを有効にしない場合は、「しない」を選択のまま  キーを押すと、デバイス設定画面に戻ります。

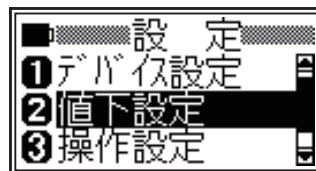
- ③保存され、デバイス設定画面に戻ります。



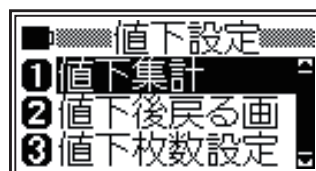
7-2 値下設定

■値下集計・値下後の画面表示・値下ラベル発行枚数の入力方法の設定をします。

①設定から値下設定を矢印で選択し、キーを押します。



②値下設定に関する選択画面が表示されます。



7-2-1 値下集計

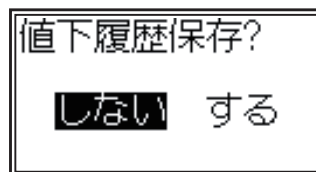
■値下履歴を保存するかどうかの設定をします。

①値下集計の選択画面のまま キーを押します。



②値下履歴の保存画面が表示されます。

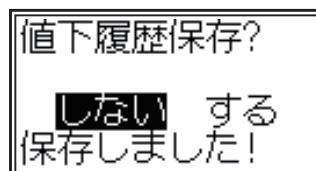
値下履歴を保存しない場合は、矢印キーで「しない」を選択し キーを押します。



※値下履歴を保存する場合は、「する」を選択のまま キーを押すと、値下設定画面に戻ります。

「する」に設定した場合は、約 900 スキャン分の値下データを保存することができます。

③保存され、値下設定画面に戻ります。



7-2-2 値下後戻る画面

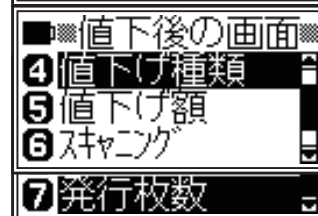
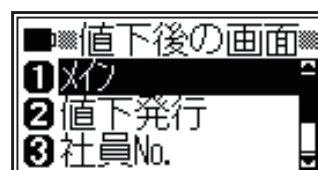
■値下ラベル発行後の画面表示を設定をします。

①値下設定から値下後戻る画面を矢印キーで選択し、

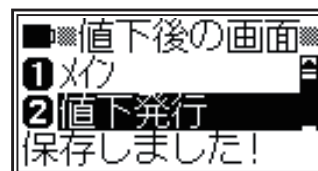
 キーを押します。



②値下後戻る画面の選択をします。



たとえば、値下後の戻る画面を値下発行にする場合は、矢印キーで値下発行を選択して  キーを押すと保存され、値下設定画面に戻ります。



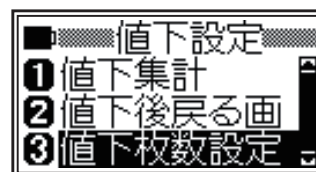
※戻る画面を値下発行に設定した場合、値下レイアウトが1つしか無い場合は、次の社員 NO. 画面が表示されます。

7-2-3 値下枚数設定

■値下ラベルの発行枚数の入力方法を設定します。

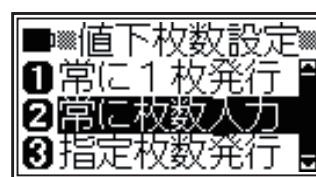
①値下設定から値下枚数設定を矢印キーで選択し、

 キーを押します。

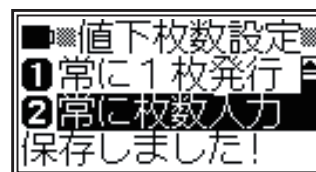


②値下枚数の設定方法を選択します。

たとえば、値下枚数設定を「常に枚数入力」に変更する場合は、矢印キーで「常に枚数入力」を選択して  キーを押します。



③保存され、値下設定画面に戻ります。

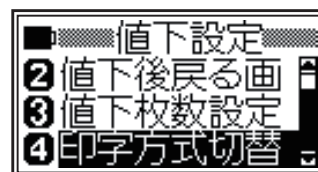


7-2-4 印字方式切替

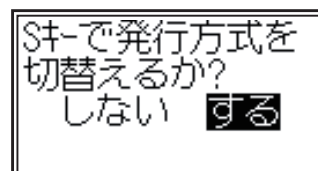
- 値下ラベルの発行時に、Sキーで連続発行または剥離発行かの切替を設定します。
- 印字方式切替を「する」に設定した場合は、本体に登録された全ての値下レイアウトに適用されます。

①値下設定から印字方式切替を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②Sキーで連続発行か剥離発行かの切替をする設定画面が表示されます。



たとえば、切替をする場合は、矢印キーで「する」を選択して  キーを押します。

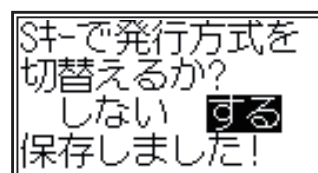
この設定を行うと、下記の値下発行画面で「**S切替**」項目が表示されます。

ここで  キーを長押しするごとに「連続」⇒「剥離」が交互に切り替わります。



※切替をしない場合は、「しない」のまま  キーを押すと、値下設定画面に戻ります。

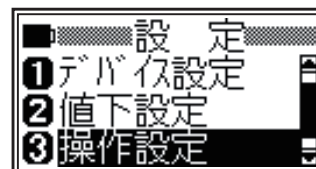
③保存され、値下設定画面に戻ります。



7-3 操作設定

■操作上の各種設定をします。

- ①設定から操作設定を矢印キーで選択し、 キーを押します。



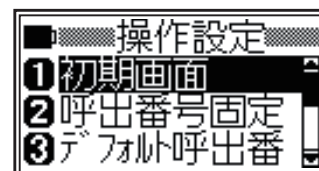
- ②操作設定に関する選択画面が表示されます。



7-3-1 初期画面

■初期画面の設定をします。

①初期画面を選択のまま (E 発行) キーを押します。



②初期画面を選択します。

たとえば、初期画面を「ラベル発行」に変更する場合は、矢印キーで「ラベル発行」を選択して (E 発行) キーを押します。



③保存され、操作設定画面に戻ります。



7-3-2 呼出番号固定

■呼出發行をする時に、呼出番号を固定に設定します。

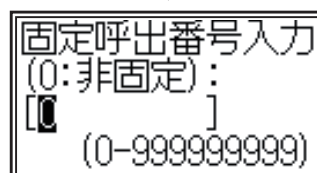
※固定に設定した時は、呼出番号の入力画面は表示されません。

- ①操作設定で呼出番号固定を矢印キーで選択し、 キーを押します。

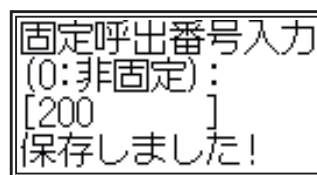


- ②固定する呼出番号の入力画面が表示されます。

たとえば、[200] と入力し  キーを押します。



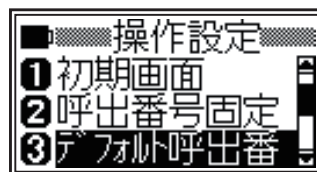
- ③保存され、操作設定画面に戻ります。



7-3-3 デフォルト呼出番号

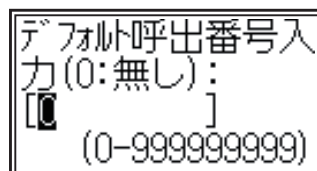
■呼出發行をする時に、初期表示する呼出番号の設定をします。

- ①操作設定でデフォルト呼出番号を矢印キーで選択し、 キーを押します。

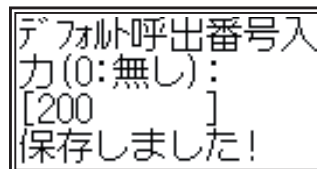


- ②初期表示する呼出番号の入力画面が表示されます。

たとえば、[200] と入力し  キーを押します。



- ③保存され、操作画面に戻ります。

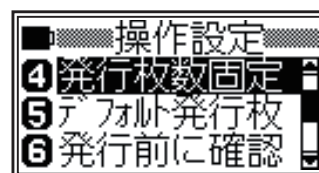


7-3-4 発行枚数固定

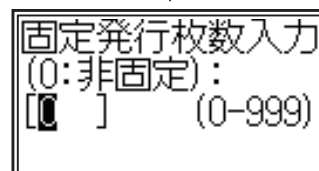
■ラベルの発行枚数を設定します。

※発行枚数固定に設定した時は、発行枚数の入力画面は表示されません。

- ①操作設定で発行枚数固定を矢印キーで選択し、 キーを押します。

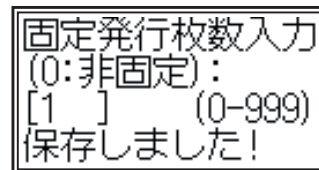


- ②固定する呼出番号の入力画面が表示されます。



たとえば、[1] と入力し  キーを押します。

- ③保存され、操作設定画面に戻ります。

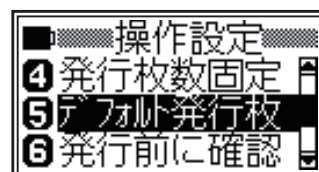


7-3-5 デフォルト発行枚数

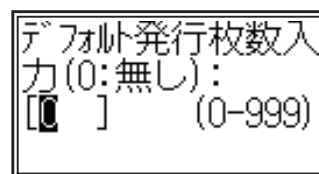
■ラベルの発行枚数の初期値を設定された枚数で表示します。

※発行枚数が固定されている場合は、固定枚数が優先されます。

- ①操作設定でデフォルト発行枚数を矢印キーで選択し、 キーを押します。

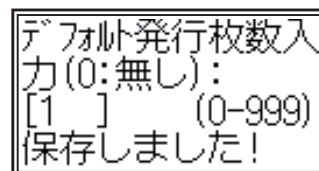


- ②デフォルト発行枚数の入力画面が表示されます。



たとえば、[1] と入力し  キーを押します。

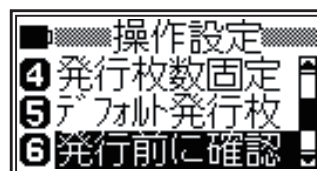
- ③保存され、操作設定画面に戻ります。



7-3-6 発行前に確認

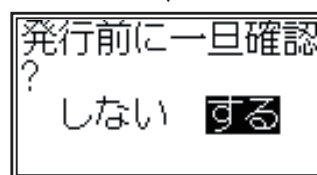
■ラベルを発行する前に、印字内容を表示させるかどうかの設定をします。

- ①操作設定で発行前に確認を矢印キーで選択し、 キーを押します。



- ②発行前に一旦確認画面が表示されます。

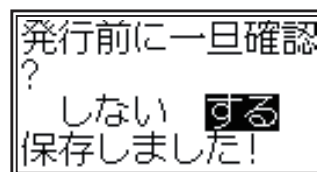
発行前に印字内容を一旦確認をする場合は、矢印キーで「する」を選択して  キーを押します。



※発行前に印字内容を一旦確認をしない場合は、「しない」のまま  キーを押すと、操作設定画面に戻ります。



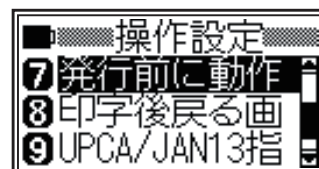
- ③保存され、操作設定画面に戻ります。



7-3-7 発行前に動作

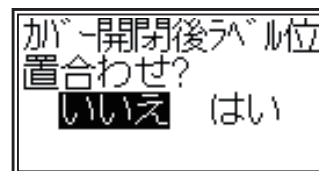
■カバー開閉後ラベルの位置合わせをするために、白紙ラベルを発行するかどうかの設定をします。

- ①操作設定で発行前に動作を矢印キーで選択し、 キーを押します。



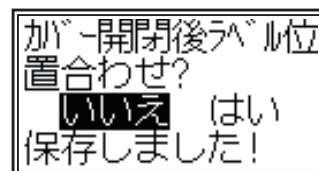
- ②ラベル位置合わせ画面が表示されます。

カバー開閉後ラベルの位置合わせをしない場合は、「いいえ」を選択し、 キーを押します。



※カバー開閉後ラベルの位置合わせをする場合は、「はい」を選択のまま  キーを押すと、操作設定画面に戻ります。

- ③保存され、操作設定画面に戻ります。



※本体電源がONの状態のカバーを開閉した場合に、ラベル発行時、初回に位置合わせの白紙ラベルを発行します。

7-3-8 印字後戻る画面

■ラベル発行後に表示する画面を設定します。

①操作設定で印字後戻る画面を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②印字後戻る画面に関する選択画面が表示されます。

たとえば、発行後の画面を「呼出發行」に変更する場合は、矢印キーで「呼出發行」を選択して  キーを押します。



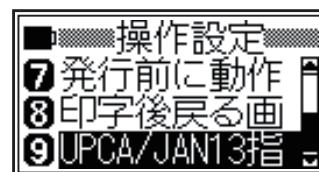
③保存され、操作設定画面に戻ります。



7-3-9 UPCA/JAN13指定

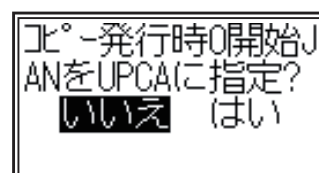
■バーコードの先頭が[0]を表す13桁のバーコードの場合、JANコードのNONPLUで認識するかUPC-Aで認識するかを設定をします。

- ①操作設定でUPCA/JAN13指定画面を矢印キーで選択し、キーを押します。

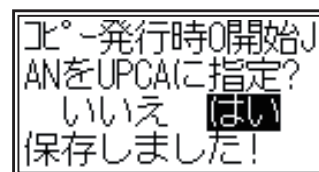


- ②指定画面が表示されます。

- UPCAに指定する場合は、矢印キーで「はい」を選択し
キーを押します。



保存され、操作設定画面に戻ります。



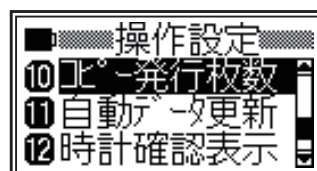
- ※UPCAに指定しない場合は、「いいえ」を選択のまま
キーを押すと操作設定画面に戻ります。

7-3-10 コピー発行枚数

■コピー発行する時の発行枚数を設定します。

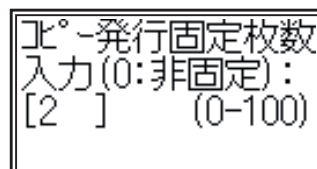
①操作設定でコピー発行枚数を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②コピー発行枚数の入力画面が表示されます。

たとえば、[2] と入力し、 キーを押します。



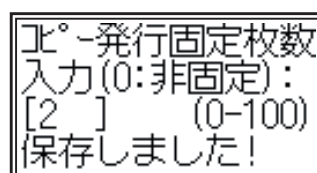
※発行枚数を変更しない場合は、[1] のまま  キーを押すと操作設定画面に戻ります。

※  キーを押すごとに、[1] ごと減算されます。

※  キーを押すごとに、[1] ごと加算されます。



③保存され、操作設定画面に戻ります。



7-3-11 自動データ更新

■電源ON時に、FTPサーバと通信してFTPサーバからデータを更新するかの設定をします。

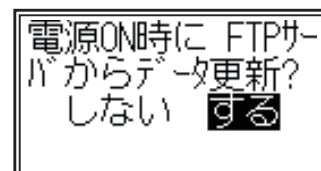
①操作設定で自動データ更新を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②データ更新の設定画面が表示されます。

電源ON時に、FTPサーバからデータを更新する場合は、「する」を選択し、 キーを押します。

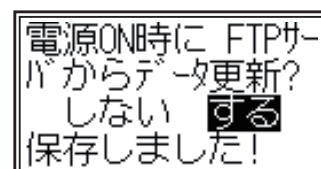


※データを更新しない場合は、「しない」を選択し、

 キーを押します。



③保存され、操作設定画面に戻ります。



※「する」に設定されると、プリンターの電源ON時に、
下図のような画面が表示され、しばらくして初期画面を
表示します。

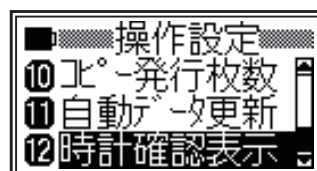


7-3-12 時計確認表示

■電源ON時に、内蔵時計の時刻を確認するかの設定をします。

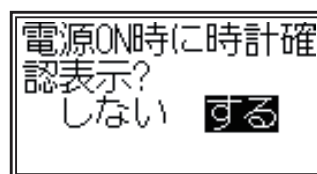
①操作設定で時計確認表示を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②時計確認表示画面が表示されます。

電源ON時に、内蔵時計の時刻を確認をする場合は、
「する」を選択し、 キーを押します。

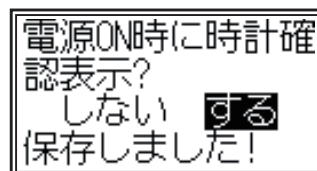


※時刻を確認しない場合は、「しない」を選択し、

 キーを押します。



③保存され、操作設定画面に戻ります。



※「する」に設定されると、プリンターの電源ON時に、
下図のような画面が表示されます。

 キーで初期画面を表示します。



7-4 ネットワーク設定

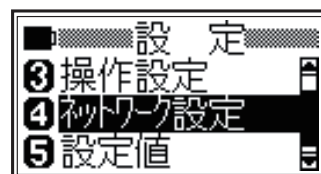
■通信ポートの選択・無線LANの設定・TCP/IPの設定・サーバーの設定を行います。

■ネットワーク設定は、お客様が運用するネットワーク環境に依存しますので、ネットワーク管理者にご確認の上ご使用ください。

①設定からネットワーク設定を矢印キーで選択し、



キーを押します。



②ネットワーク設定に間する選択画面が表示されます。



7-4-1 通信ポート選択

■通信ポートの選択をします。

①通信ポート設定を選択のまま (E 発行) キーを押します。



②本装置は、LAN仕様になっています。

※オプションの無線LAN仕様には、なっていません。



③ (E 発行) キーを押すと、ネットワーク設定画面に戻ります。

7-4-2 無線LAN設定

■無線 LAN の選択をします。

- ①ネットワーク設定から無線 LAN 設定を選択し、 キーを押します。



- ②無線 LAN 設定に関する選択画面が表示されます。



(1) SSID

■SSIDの設定をします。

- ①SSIDを選択のまま  キーを押します。



- ②入力画面が表示されます。

たとえば、「HALLO」と入力し、 キーを押します。

※変更しない場合は、[Shinsei] のまま  キーを押すと、無線 LAN 設定画面に戻ります。



- ③保存され、無線 LAN 設定画面に戻ります。



(2) WEPキー設定

■WEPキーの設定をします。

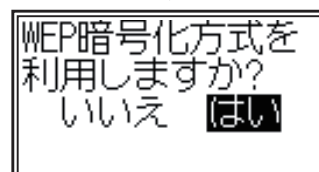
- ①無線 LAN 設定からWEPキー設定を選択し、 キーを押します。



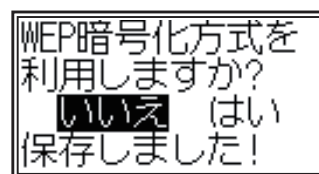
- ②WEP 暗号化方式を利用するかを選択画面が表示されます。

利用する場合は、矢印キーで「はい」を選択し、

 キーを押します。

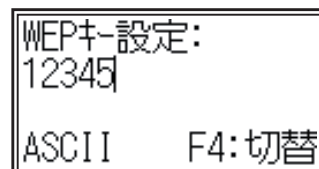


- ※利用しない場合は、「いいえ」のまま  キーを押すと、保存画面が表示され、無線 LAN 設定画面に戻ります。



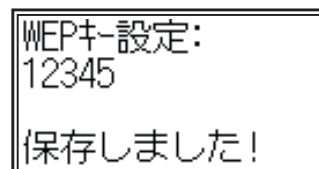
- ③WEPキーの設定画面が表示されます。

※たとえば、[12345] と入力し、 キーを押します。



※  キーを押すごとに ASCII コードと HEX コードを交互に切替えることができます。

- ④保存され、無線 LAN 設定画面に戻ります。



(3) 認証方式

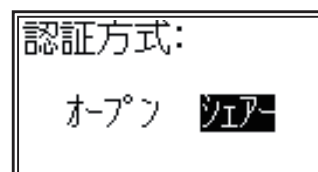
■認証方式を設定をします。

①無線 LAN 設定から認証方式を選択し、 キーを押します。



②選択画面が表示されます。

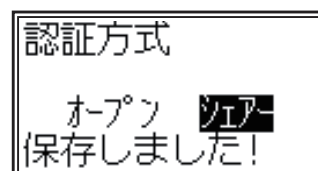
たとえば、「シェア」を選択して、 キーを押します。



※変更しない場合は、「オープン」のまま  キーを押すと、無線 LAN 設定画面に戻ります。



③保存され、無線 LAN 設定画面に戻ります。



(4) ワイヤレス接続の方式

■ワイヤレス接続の方式を選択をします。

①無線 LAN 設定からワイヤレス接続の方式を選択し、

 キーを押します。



②ワイヤレス接続の方式の選択画面が表示されます。

たとえば、「IBSS」を選択して  キーを押します。

※変更しない場合は、「BSS」のまま  キーを押すと、無線 LAN 設定画面に戻ります。



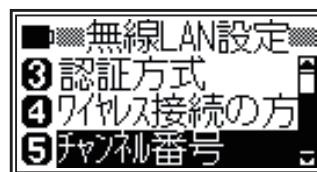
③保存され、無線 LAN 設定画面に戻ります。



(5) チャンネル番号

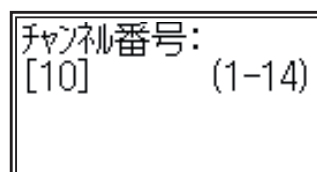
■チャンネル番号の設定をします。

- ①無線 LAN 設定からチャンネル番号を選択し、 キーを押します。



- ②入力画面が表示されます。

たとえば、[10] と入力して  キーを押します。



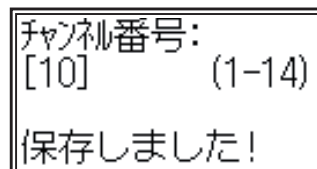
- ※変更しない場合は、[8] のまま  キーを押すと、無線 LAN 設定画面に戻ります。

※  キーを押すごとに、[1] ごと減算されます。

※  キーを押すごとに、[1] ごと加算されます。



- ③保存され、無線 LAN 設定画面に戻ります。



7-4-3 TCP/IP設定

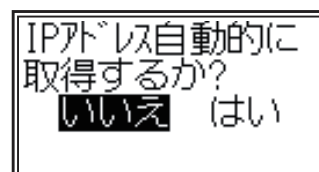
■ I Pアドレスを自動で取得するかどうかの選択をします。

※実際の運用は、お客様のネットワーク環境に合わせて設定して下さい。

- ① ネットワーク設定からTCP/IP設定を矢印キーで選択し、 キーを押します。

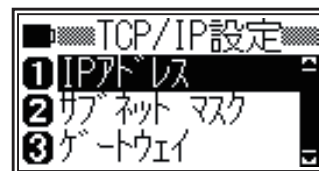


- ② 選択画面が表示されます。



- ※ I Pアドレスを自動的に取得する場合は、「はい」のまま
 キーを押すとネットワーク設定画面に戻ります。

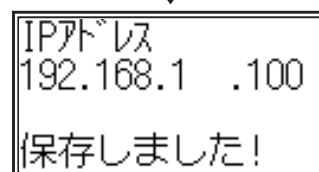
- ③ TCP/IP設定の設定画面が表示されます。



- I Pアドレスを選択のまま  キーを押します。

たとえば、右図のように I Pアドレスを入力し  キーを押します。

保存され、TCP/IP設定画面に戻ります。

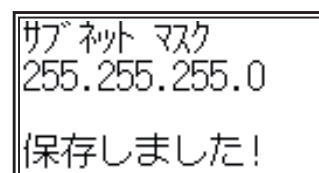


- 矢印キーでサブネットマスクを選択し  キーを押します。



たとえば、右図のようにサブネットマスクを入力し  キーを押します。

保存され、TCP/IP設定画面に戻ります。

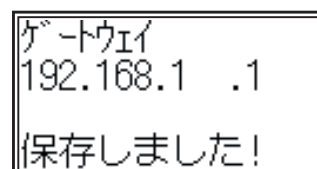


7 設定⇒ネットワーク設定について（つづき）

- 矢印キーでゲートウェイを選択し、キーを押します。



たとえば、右図のようにゲートウェイを入力し、キーを押すと、TCP/IP設定画面に戻ります。



7-4-4 サーバー設定

- サーバーのIPアドレス・ポート番号・ユーザ名・パスワードを設定します。

※実際の運用は、お客様のネットワーク環境に合わせて設定して下さい。

- ①ネットワーク設定からサーバー設定を矢印キーで選択し、キーを押します。



- ②サーバー設定に関する選択画面が表示されます。



(1) サーバーIPアドレス

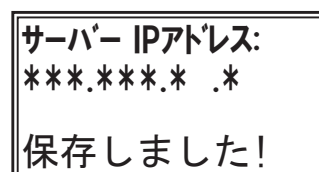
■サーバーのIPアドレスを設定します。

- ①サーバー設定からサーバーIPアドレスを矢印キーで選択し、キーを押します。



- ②サーバーIPアドレスの入力画面が表示されます。

サーバーIPアドレスを入力し、キーを押します。

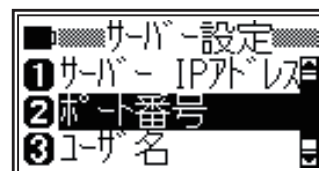


※設定されたIPアドレスを変更した場合は、保存画面が表示され、サーバー設定画面に戻ります。

(2) ポート番号

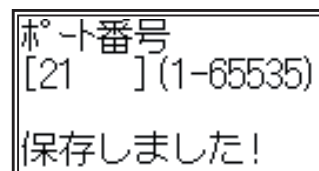
■ポート番号を設定します。

- ①サーバー設定からポート番号を矢印キーで選択し、キーを押します。



- ②ポート番号の入力画面が表示されます。

たとえば、右図のようにポート番号を入力し、キーを押します。



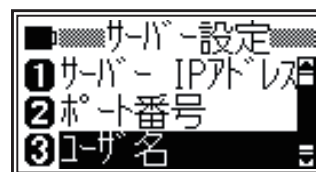
保存され、サーバー設定画面に戻ります。

(3) ユーザ名

■ユーザ名を設定します。

- ①サーバー設定からユーザ名を矢印キーで選択し、

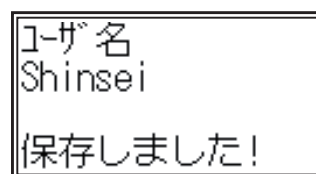
 キーを押します。



- ②入力画面が表示されます。

たとえば、[Shinsei] と入力し、 キーを押します。

保存され、サーバー設定画面に戻ります。

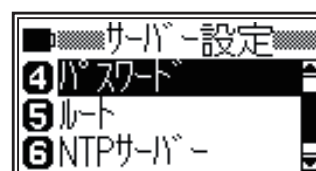


(4) パスワード

■パスワードを設定します。

- ①サーバー設定からパスワードを矢印キーで選択し、

 キーを押します。



- ②入力画面が表示されます。

ここでは、[Shinsei] と設定されています。

変更しない場合は、 キーを押すと、サーバー設定画面に戻ります。



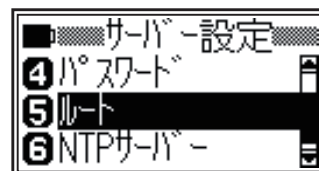
※変更した場合は、入力後、保存画面が表示され、サーバー設定画面に戻ります。

(5) ルート

■ルートを設定します。

- ①サーバー設定からルートを矢印キーで選択し、

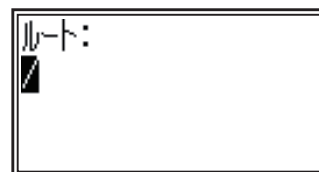
 キーを押します。



- ②入力画面が表示されます。

ここでは、[/] と設定されています。

変更しない場合は、 キーを押すと、サーバー設定画面に戻ります。



※変更した場合は、入力後、保存画面が表示され、サーバー設定画面に戻ります。

(6) NTPサーバー

■NTPサーバーの設定をします。

- ①サーバー設定からNTPサーバーを矢印キーで選択し、

 キーを押します。

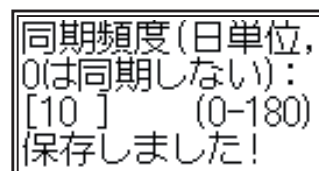


- ②同期頻度の入力画面が表示されます。

たとえば、[10] と入力し、 キーを押します。

保存され、次のNTPサーバー設定画面が表示されます。

※変更しない場合は、[7] のまま  キーを押すと、次項のNTPサーバーの設定画面に戻ります。



- ③NTPサーバーの設定画面が表示されます。

ここでは、[time.nist.gov] と設定されています。

変更しない場合は、 キーを押すと、サーバー設定画面に戻ります。

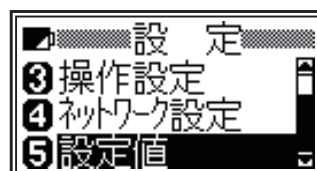
※変更した場合は、入力後、保存画面が表示され、サーバー設定画面に戻ります。



7-5 設定値

■一覧印刷・出荷値に複製または戻す・ファイルに保存・ファイルから復元をするかどうかを設定します。

①矢印キーで設定値を選択し、 キーを押します。



②設定値に関する選択画面が表示されます。

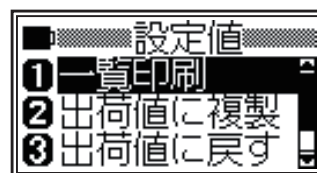


7-5-1 一覧印刷

■設定値をラベルに一覧印刷するかの設定をします。

※幅 55mm 以上のマークラベルを使用する必要があります。

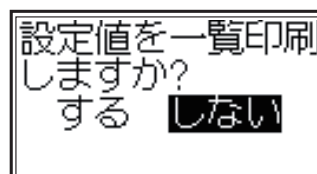
①一覧印刷を選択のまま  キーを押します。



②選択画面が表示されます。

●設定値を一覧印刷する場合は、「する」を選択し、 キーを押します。

※設定値を一覧印刷をしない場合は、「しない」の選択まま  キーを押すと設定値画面に戻ります。



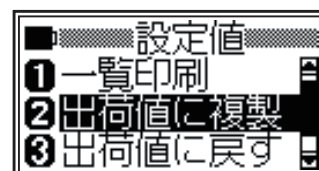
③印字終了後、設定値画面に戻ります。



7-5-2 出荷値に複製

■現在使用している環境設定値を出荷値に複製するかの設定をします。

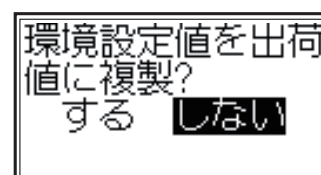
- ①設定値から出荷値に複製を矢印キーで選択し、 キーを押します。



- ②選択画面が表示されます。

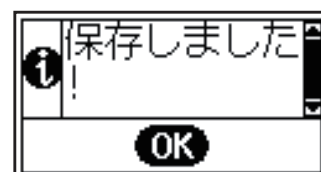
環境設定値を出荷値に複製する場合は、「する」を選択し、

 キーを押します。



出荷値に複製されました。

 キーを押すと設定値画面に戻ります。

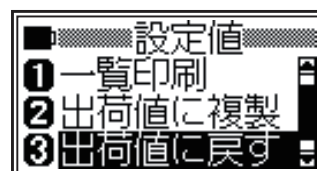


※環境設定値を出荷値に複製しない場合は、「しない」の選択まま  キーを押すと設定値画面に戻ります。

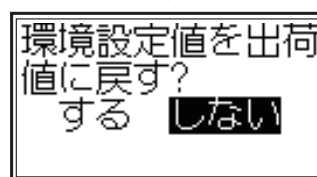
7-5-3 出荷値に戻す

■現在使用している環境設定値を出荷値に戻すかの設定をします。

- ①設定値から出荷値に戻すを矢印キーで選択し、 キーを押します。



- ②選択画面が表示されます。
環境設定値を出荷値に戻す場合は、「する」を選択し、 キーを押します。



出荷値に戻りました。
 キーを押すと設定値画面に戻ります。



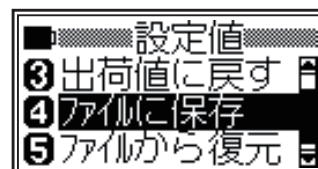
※環境設定値を出荷値に戻すにしない場合は、「しない」のまま  キーを押すと設定値画面になります。

7-5-4 ファイルに保存

■環境設定値（EEPROMデータ）をCFカードにファイル形式で保存するかの設定をします。

①設定値からファイルに保存を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



②選択画面が表示されます。

●環境設定値をファイル形式で保存する場合は、「する」を選択し  キーを押します。

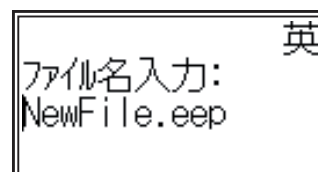


※環境設定値をファイルに保存しない場合は、「しない」の選択まま  キーを押すと設定値画面に戻ります。

③入力画面が表示されます。

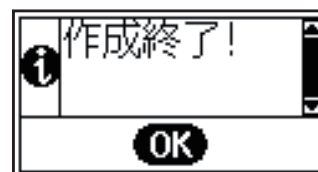
ファイル名を入力して  キーを押します。

※ファイル名が同じ場合は、上書するかどうかの画面が表示されます。



④保存されました。

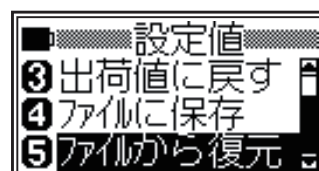
 キーを押すと、設定値画面に戻ります。



7-5-5 ファイルから復元

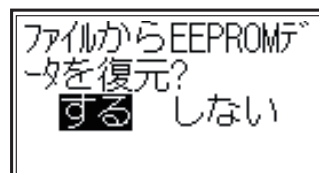
■保存されたファイルから環境設定値（EEPROMデータ）を復元するかの設定をします。

- ①ファイルから復元を矢印キーで選択し、 キーを押します。

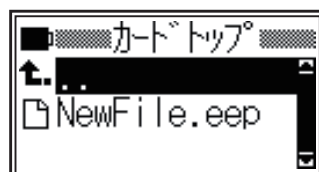


- ②選択画面が表示されます。

ファイルからEEPROMデータを復元する場合は、「する」を選択し  キーを押します。

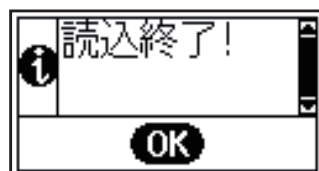


復元するファイル名を選択し  キーを押します。



復元が終了しました。

 キーを押すと、設定値に戻ります。



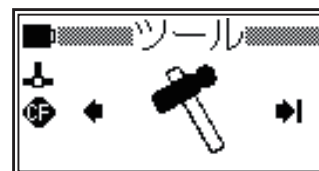
※ファイルからEEPROMデータを復元しない場合は、「しない」のまま  キーを押すと設定値画面に戻ります。

8 ツールについて

■本体機能の表示・確認をします。

- ①初期画面で「ツール」を矢印キーで選択し、 キーを押します。

※ここでは、初期画面がアイコン表示に設定されています。



- ②ツールに関する選択画面が表示されます。



8- 1 バージョン情報

■本体のバージョン情報を確認します。

- ①バージョン情報の選択画面のまま  キーを押します。



- ②バージョン情報が表示されます。

 キーでツール画面に戻ります。



8- 2 発行距離確認

■これまでに発行したラベルのトータル発行距離を確認します。

- ①ツールから発行距離確認を矢印キーで選択し、

 キーを押します。



- ②発行距離が表示されます。

 キーでツール画面に戻ります。



8- 3 MACアドレス

■MACアドレスを確認します。

詳細は、ネットワーク管理者にご確認下さい。

- ①ツールからMACアドレスを矢印キーで選択し、

 キーを押します。



- ②MACアドレスが表示されます。

 キーでツール画面に戻ります。



8- 4 プリンタID

■プリンタ I Dを確認します。

- ①ツールからプリンタ I Dを矢印キーで選択し、



キーを押します。



- ②プリンタ I Dが表示されます。



キーでツール画面に戻ります。



8- 5 ヘッドチェック

■サーマルヘッドの状態を電氣的チェックするかの設定をします。

- ①ツールからヘッドチェックを矢印で選択し、



キーを押します。

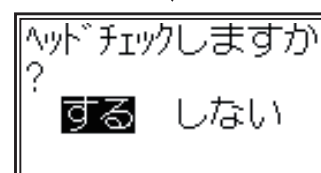


- ②ヘッドチェックのする・しないの画面が表示されます。

ヘッドチェックをする場合は、「する」を選択し、



キーを押します。



※ヘッドチェックをしない場合は、「しない」を選択し



キーを押すと、ツール画面に戻ります。

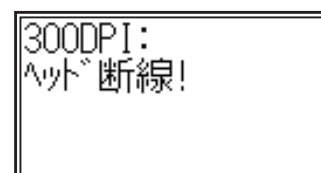
- ③ヘッドチェック中の画面表示後、正常画面が表示されます。



キーでツール画面に戻ります。



※「ヘッド断線」と表示された場合は、すぐに使用を中止し、大至急、お買い上げ頂いた販売店かメーカーにサービスコールをして下さい。



8-6 自己診断

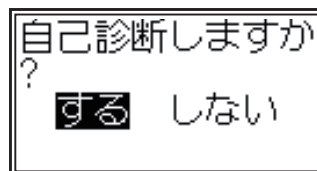
■LCD・操作キー・ヘッドチェックを自己診断するかどうかの設定をします。

- ①ツールから自己診断を矢印キーで選択し、 キーを押します。



- ②選択画面が表示されます。

自己診断をする場合は、「する」を選択し、 キーを押します。



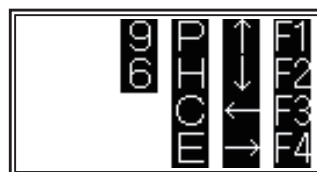
※自己診断をしない場合は、「しない」を選択のままキーを押すと、自己診断画面に戻ります。

- ③LCDの自己診断を開始します。

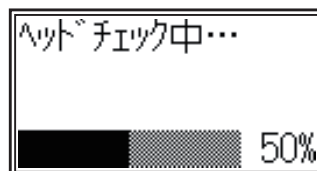


- ④黒く反転しているキーを1個ずつ押していくと、反転が消失されて自己診断します。

※いずれかのキーを長押しすると、この自己診断をスキップして次項目のヘッドチェックを開始します。



- ⑤ヘッドチェックを開始します。



- ⑥テスト印字をします。

印字後、ツール画面に戻ります。

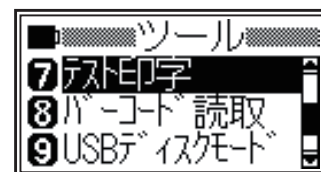


8- 7 テスト印字

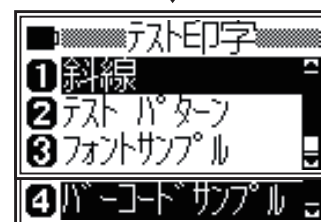
■テスト印字されたラベルを発行して、サーマルヘッドの汚れや断線を
確認します。

※幅 55mm 以上のマークラベルを使用する必要があります。

- ① ツールからテスト印字を矢印で選択し、 キーを
押します。



- ② テスト印字に関する選択画面が表示されます。



- ③ 選択されたテスト印字のラベルを発行します。
発行後、テスト印字画面に戻ります。



8- 8 バーコード読取

■付帯文字の無いバーコードやバーコードの種類が不明なバーコードを読み取りバーコードの内容を表示します。

- ① ツールからバーコード読取を矢印で選択し、 キーを押します。



- ② スキャナーでバーコードを読み取ります。
読み取ったバーコードが表示されます。

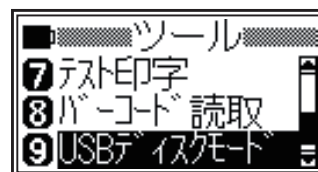


-  キーでツール画面に戻ります。

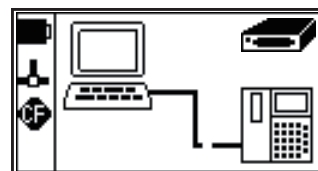
8- 9 USBディスクモード

■本体にC Fカードをセットした状態で、パソコンと本体と接続することによりパソコンの外部メモリーとして使用します。

- ① ツールからUSBディスクモードを矢印で選択し、 キーを押します。



- ② 通信可能状態の画面が表示されます。



- 通信終了後、 キーでツール画面に戻ります。

8-10 FTPクライアント機能

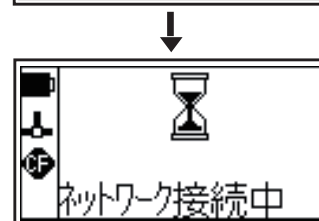
■本体とFTPサーバーと通信して、サーバーからファイルをCFカードに保存またはCFカードからサーバーにアップロードします。

①ツールからFTPクライアント機能を矢印で選択し、

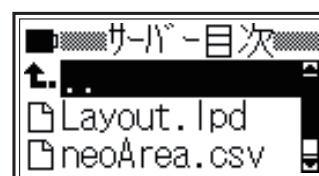
 キーを押します。



②ネットワーク接続中の画面が表示されます。



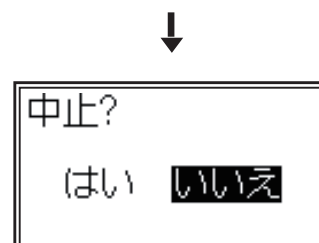
③サーバーに保存されているファイルを選択して  キーを押します。



④ファイルが送信されます。

次のファイルを送信する場合は、「いいえ」の選択のまま

 キーを押します。



※送信を終了する場合は、「はい」を選択し  キーを押します。

サーバー画面に戻ります。

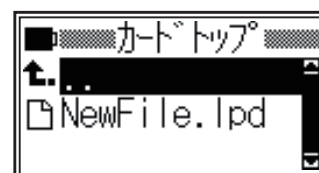
補足

●項目③で、CFカードのファイルをサーバーにアップロードする場合は、 キーを押します。

CFカードからアップロードするファイル名を選択して

 キーを押します。

ファイルが送信されてツール画面に戻ります。



neo - 3 プリンタエラー表示一覧

No.	L C D 表示	内 容
1	カバーオープン！	カバーがオープンされた
2	ラベルエラー！	マークまたはギャップを認識できない
3	ラベルエンド！	ラベルが無くなった
4	充電してください！	バッテリーパックの電池残量が足りなくなった
5	充電してください！ 60 秒後電源を切断	バッテリーパックの電池がもうすぐなくなる 60 秒後、自動的に電源を切断
6	ヘッド過熱！	ヘッド温度が高すぎる
7	ヘッド断線！	ヘッド切れしている（サービスコール）
8	通信エラー	U S B 接続できない
9	通信コマンドエラー	通信パラメーターが合わないか、 通信データに異常があった
1 0	カード未挿入！	カードが挿入されていない
1 1	カードアクセスエラー！	カードアクセス時、異常があった
1 2	スキャナ未接続！	スキャナが接続されていない
1 3	データが消えます！ 至急サービスコール！ P - > 継続	リチウム電池の残量が足りなくなった （サービスコール）
1 4	データが消えます！使用不可能！ 修理して下さい！	リチウム電池がもうすぐなくなる （使用を中止し、すぐ修理）
1 5	EEPROM 異常！	本体ハードウェアに異常があった （サービスコール）
1 6	内蔵時計異常！	
1 7	コンバーター電源異常！	
1 8	MAC アドレス異常！	
1 9	IC 異常！	



新盛インダストリーズ

本社 〒114-0004 東京都北区堀船4-12-15

TEL 03-3913-0131 FAX 03-3913-9607

TEL 03-5913-0131 FAX 03-5913-9007
営業所 〒540-0011 大阪市中央区農人橋2-1-30

谷町八木ビル5F

TEL 06-6765-4381 FAX 06-6765-4382

U R L <http://www.shinseiind.co.jp>